

令和 7 年度  
小金井市の環境・みどりに関する  
市民アンケート調査結果  
報 告 書

令和 8 年 3 月

# 目次

1. 調査の概要.....	1
(1)目的.....	1
(2)対象 .....	1
(3)方法及び期間 .....	1
(4)回答概要.....	1
2. 調査結果の概要.....	2
(1)回答者属性 .....	2
(2)主な回答結果.....	3
3.調査結果 .....	7
◆ ご自身について .....	7
1 身近な環境の満足度について .....	8
2 日常生活における環境に関する取組状況.....	11
3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について.....	15
4 環境に関する情報提供について.....	21
5 今後、重視すべき取組について.....	23
6 小金井市の「みらい」の環境について .....	27
7 環境保全に関する用語の認知度について.....	31
8 小金井市のみどりについて .....	33
9 気候変動対策について .....	36
10 市の環境施策について .....	41

## 資料編

- 1 クロス集計結果
- 2 「10 市の環境施策について」意見一覧
- 3 調査票

# 1. 調査の概要

## (1)目的

第3次小金井市環境基本計画、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び小金井市みどりの基本計画の中間見直しにおける評価のため、環境・みどりについて日頃感じている市民の意識・意向を把握しました。

## (2)対象

市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人

(外国籍の方90名には、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の調査票を同封し送付)

## (3)方法及び期間

方法	期間
・調査票を郵送、返信用封筒にて回収(紙面)	令和7年6月25日
・調査票に掲載の二次元コード、URLよりインターネットで回答(WEB)	～7月16日

## (4)回答概要

対象	配布数	回答数(n)	回答率
18歳以上の市民	3,000	1,078	35.9%

※ 上記のうち、外国籍の方の回答数は3件(英語1件、中国語2件)

※ WEBと紙面の重複回答が1件あったため、有効な回答数から除外しました

※ 回答率は、小数点第2位を四捨五入

### 【参考】年齢別回答率

年代	発送数		回答数			回答率	
			紙面	WEB	合計		
10代	67	(4)	6	(1)	10	16	23.9%
20代	473	(54)	30	(0)	42	72	15.2%
30代	484	(24)	50	(0)	86	136	28.1%
40代	529	(6)	79	(2)	96	175	33.1%
50代	520	(2)	101	(0)	91	192	36.9%
60代	396	(0)	147	(0)	65	212	53.5%
70代以上	531	(0)	241	(0)	26	267	50.3%
無回答	—	—	8	(0)	0	8	—
合計	3,000	(90)	662	(3)	416	1,078	35.9%

※ 発送数及び紙面の回答数の括弧書きは外国籍の方

※ 令和元年度回答状況

1,028件(紙面 941件、WEB 87件)

上記のうち外国籍の方(回答数 11件 回答率 34.3%)

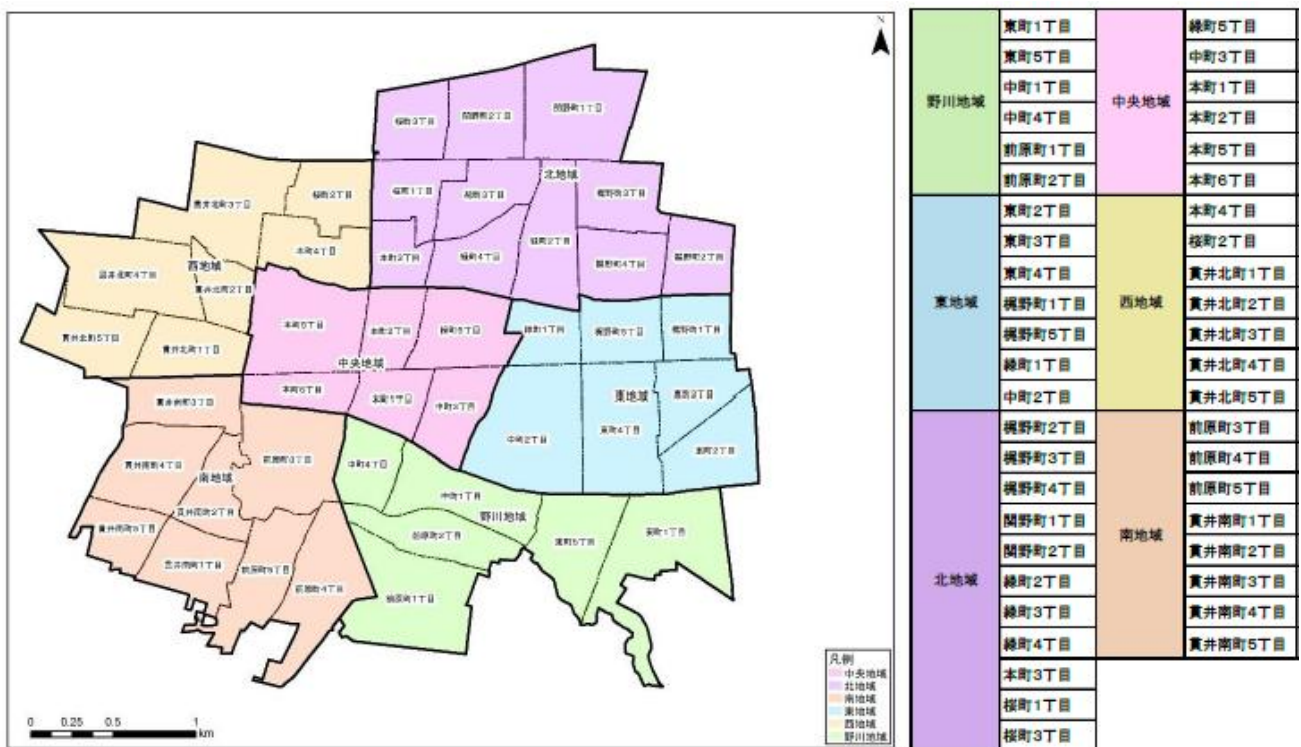
## 2. 調査結果の概要

### (1) 回答者属性

属性	結果
性別	「女性」が約54%、「男性」が約40%となり、女性が多くなっていました。無回答は約6%でした。
年齢	「70歳以上」が約25%で最も多く、39歳以下の若い世代の回答は約21%と少ない結果でした。
居住地域	町別、地域別の回答状況は、人口割合と概ね一致していました。
居住年数	「10年以上」が約71%を占め、小金井市に長く住んでいる方の回答が多くなっていました。
居住形態	「戸建て」が半数以上を占め、「集合住宅」は約38%となっていました。

※ 居住地域は、町丁目の情報をもとに下図のとおり6つの地域に区分して集計しました。

※ 属性によるクロス集計結果については、年齢では「10歳代」及び「20歳代」、居住年数では「3年以上5年未満」、居住形態では「間借り等その他」の回答数が少ないため、割合の変動が大きいことから、結果については傾向を把握するための参考情報として整理しています。



出典：令和元年度小金井市みどりの実態調査報告書

## (2)主な回答結果

### 1 身近な環境の満足度について

- 「満足」、「やや満足」の合計値は「まちの静けさ」、「まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱、におい等）」、「生き物との親しみやすさ」、「水辺との親しみやすさ（河川や湧水を身近に感じるか）」、「水のきれいさ（河川や湧水の水質、におい等）」で6割以上でした。
- 「地球環境に配慮した取組み（CO<sub>2</sub>削減等）」は、「満足」、「やや満足」の合計値が3割以下で最も低い結果でした。
- 全ての設問において、令和元年度と比較して令和7年度の「満足」、「やや満足」の合計値は高い結果となり、環境全般の満足度が向上している結果となりました。
- 環境基本計画の指標である「生き物との親しみやすさ」、「まちの美しさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は、令和12年度の目標値を上回りました。

### 2 日常生活における環境に関する取組状況

- 「いつもしている」、「ときどきしている」の合計値は「ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する」、「ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する」、「生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける」、「生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する」、「移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する」で9割以上でした。
- 「生ごみは堆肥化して有効に利用する」は、「いつもしている」、「ときどきしている」の合計値が2割以下で最も低い結果でした。
- 若い世代と比較して、年齢が高くなるほど「いつもしている」、「ときどきしている」を選択する割合が高い設問が多くみられました。
- 環境配慮型機器について、「既に導入している」の割合が最も高かったのは「断熱窓」(22.0%)でした。次いで「高効率給湯器」(19.7%)、ハイブリッド車(15.0%)が高い結果でした。
- 「今後導入したい」の割合が高かったのは、「断熱窓」(27.5%)、「遮熱塗装」(26.4%)となり、住宅の断熱化の意向が高い結果でした。
- 過年度と比較して、太陽光発電システム、蓄電システムの「既に導入している」の回答は4~5ポイント増加しており、他の機器に比べて高い結果でした。

### 3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

- 「参加したことがある」の割合が高かった活動は「ごみ減量活動」(36.1%)、「まちの清掃、美化活動」(28.8%)でした。
- 「参加したことはないが今後機会があれば参加してみたい」の割合が高かった活動は「まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)」(58.6%)、「地下水・湧水・河川の保全活動」(57.3%)、「地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会」(57.1%)でした。
- 環境・みどりに関する計画について、「知っているし、読んだことがある」、「知っているが、読んだことはない」の合計値は「小金井市環境基本計画」、「小金井市みどりの基本計画」において3割以上でした。
- 「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」、「小金井市気候非常事態宣言」は「知らない」の回答が約7割でした。
- 環境・みどりに関する取組について、「知っているし、参加したことがある」、「知っているが、参加したことはない」の合計値は「野川環境フィールドワーク」が最も高い結果でした。
- 「知らない」の回答が7割前後となる取組が多く、認知度は低い結果でした。
- 過年度と比較すると、小金井環境フォーラム、環境省、環境講座、環境楽習館について、知っている割合が増加していましたが、野川環境フィールドワークは知っている割合が低下しました。
- 環境・みどりに関する補助金・制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」の回答は「住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金」が最も高い結果でした。
- その他の補助金・制度について、「知らない」の回答が7割前後であり、認知度は低い結果でした。

### 4 環境に関する情報提供について

- 環境に関する情報提供について、「市報こがねい」が80.3%で最も高くなりました。次いで「市ホームページ」(26.7%)、「X、LINE等のSNS」(24.7%)でした。
- 10～30歳代、特に20歳代は「X、LINE等のSNS」が多い結果でした。
- 過年度と比較して、「市ホームページ」、「X、LINE等のSNS」、「講座・シンポジウム・イベント等」の回答が多くなりました。

## 5 今後、重視すべき取組について

- 「ごみの適正な処理と 3R の推進」が 43.1%で最も高くなりました。次いで「地球温暖化の防止」(42.0%)、「小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全」(41.3%)が高い結果でした。
- 10 歳代、20 歳代、40 歳代は「ごみの適正な処理と 3R の推進」が最も高くなりました。50 歳代、60 歳代は「小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全」が最も高く、70 歳代は「地球温暖化の防止」が最も高い結果でした。
- 野川地域、南地域では「小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全」が最も高くなりました。
- 過年度と比較すると、「地球温暖化の防止」の回答が大きく増加しました。

## 6 小金井市の「みらい」の環境について

- 小金井市の将来に残したい環境や大切にしていきたい環境について、「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」が 66.8%で最も高くなりました。次いで「名勝小金井（サクラ）など桜のある風景」(63.4%)、「きれいな河川や湧水」(52.8%)が高い結果でした。
- 10～30 歳代は「名勝小金井（サクラ）など桜のある風景」が最も多く、40～70 歳代以上は「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」が最も多くなりました。
- 野川地域、東地域、北地域、南地域は「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」、中央地域、西地域は「名勝小金井（サクラ）など桜のある風景」が最も多くなりました。
- 過年度と比較すると、「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」、「名勝小金井（サクラ）など桜のある風景」、「きれいな河川や湧水」が他の項目に比べて増加しました。

## 7 環境保全に関する用語の認知度について

- 環境保全に関する用語について、「意味を含めて知っていた」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」の合計値は「カーボンニュートラル」が 89.7%で最も高くなりました。
- 「ネイチャーポジティブ」、「30by30」の認知度は低い結果でした。
- 環境基本計画の指標となっている「気候変動への適応」、「生物多様性」の認知度はそれぞれ 48.2%、53.0%となり、令和 12 年度の目標である 50%、75%を下回りました。

## 8 小金井市のみどりについて

- みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%)で高くなりました。
- 「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」に対する「満足」、「やや満足」の合計値は 2 割以下でした。
- 「みどりの質」の満足度は、令和元年度の 67.8%と比較すると、令和 7 年度は 47.5%となり、20.3 ポイント低下しました。
- また、「やや不満」、「不満」の回答の合計値は、令和元年度の 10.5%に対して、令和 7 年度は 7.2%と低い結果でした。
- 環境基本計画の指標である「みどりの豊かさ」の満足度は令和元年度と同程度であり、令和 12 年度の目標値である 80%は達成していません。

## 9 気候変動対策について

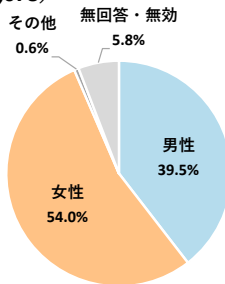
- 日本の温室効果ガス削減目標について「知っていた」は 44.5%、「知らなかった」は 43.5%でした。
- 小金井市の温室効果ガス削減目標について、「国と同じ程度の目標を掲げるべき」は 42.5%、「現状も目標値でよい」は 38.8%、「国以上の目標を掲げるべき」は 14.2%でした。
- 適応の取組について、「熱中症対策の徹底」が 93.9%で最も高くなりました。次いで「自然災害への備え」が 63.3%でした。
- 市が重点的に対策すべき適応策について、「自然災害に備えた備蓄(水・非常食)の強化」が 74.0%で最も高くなりました。次いで「防災に関する情報提供の強化」(65.1%)、「気温上昇等への対策」(60.0%) でした。
- 「燃費の良い住宅」のメリットについて、「夏は涼しく、冬は暖かく、光熱費削減」が 73.1%で最も認知度が高い結果でした。次いで「停電時にも電気の使用が可能」が 44.8%でした。「知らなかった」は 19.1%でした。

### 3. 調査結果

#### ◆ ご自身について

はじめに、あなたご自身についてお聞きします。該当する番号1つに○をつけてください。

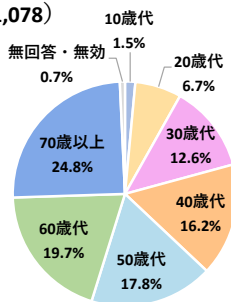
##### 性別 (n = 1,078)



##### ➤ 性別

回答者の性別は女性が54.0%、男性が39.5%でした。その他の回答が0.6%、無回答・無効は5.8%でした。

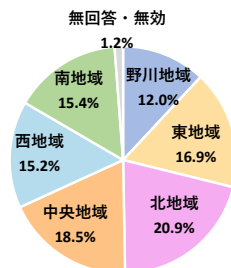
##### 年齢 (n = 1,078)



##### ➤ 年齢

回答者の年齢は70歳以上(24.8%)が最も多く、次いで60歳代(19.7%)、50歳代(17.8%)、40歳代(16.2%)でした。

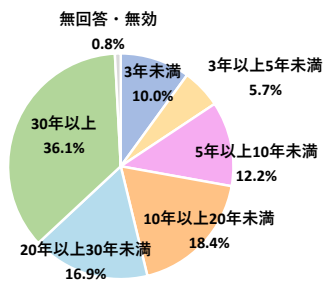
##### 居住地域 (n = 1,078)



##### ➤ 居住地域

回答者の居住地域は北地域(20.9%)が最も多く、次いで中央地域(18.5%)、東地域(16.9%)でした。

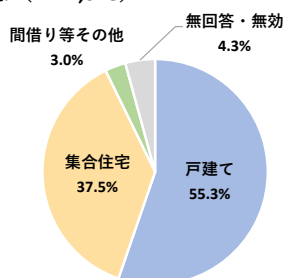
##### 居住年数 (n = 1,078)



##### ➤ 居住年数

回答者の居住年数は30年以上(36.1%)が最も多く、次いで10年以上20年未満(18.4%)、20年以上30年未満(16.9%)でした。

##### 居住形態 (n = 1,078)



##### ➤ 住宅の形態

回答者の住宅の形態は戸建てが55.3%、集合住宅が37.5%でした。

## 1 身近な環境の満足度について

お住いの地域の環境に関して、該当する番号1つに○をつけてください。

身近な環境の満足度において、「満足」、「やや満足」の合計値は「まちの静けさ」、「まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱、におい等）」、「生き物（野鳥、昆虫、水生生物等）との親しみやすさ」、「水辺との親しみやすさ（河川や湧水を身近に感じるか）」、「水のきれいさ（河川や湧水の水質、におい等）」で6割以上でした。

「地球環境に配慮した取組み（CO<sub>2</sub>削減等）」は、「満足」、「やや満足」の合計値が3割以下で最も低い結果でした。

### 身近な環境の満足度（n = 1,078）

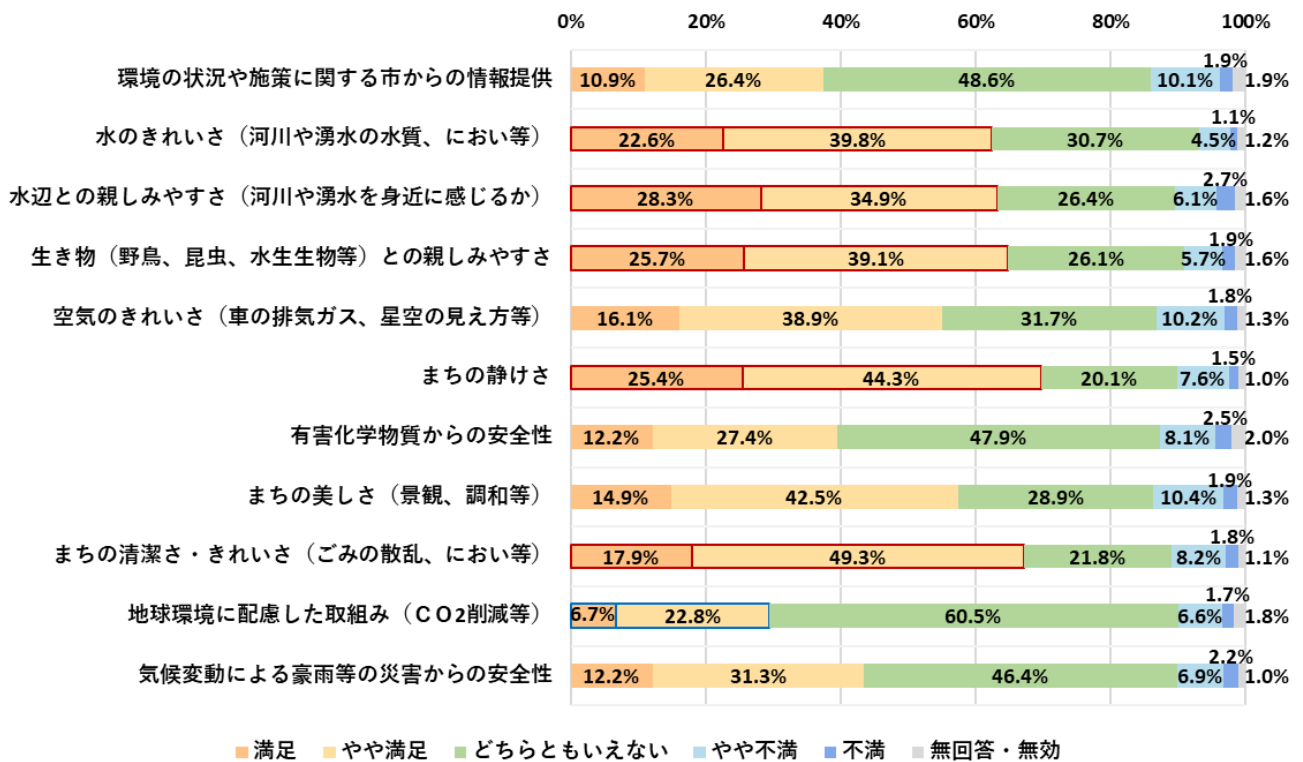


図 身近な環境の満足度

### 【過年度との比較】

全ての設問において、令和元年度と比較して令和7年度の「満足」、「やや満足」の合計値は高い結果となり、環境全般の満足度が向上している結果となりました。

環境基本計画の指標である「生き物との親しみやすさ」、「まちの美しさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は、令和12年度の目標値55%を上回りました。

表 環境基本計画の指標

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
生き物との親しみやすさ	44.8%	64.8%	55%
まちの美しさ	46.0%	57.4%	55%

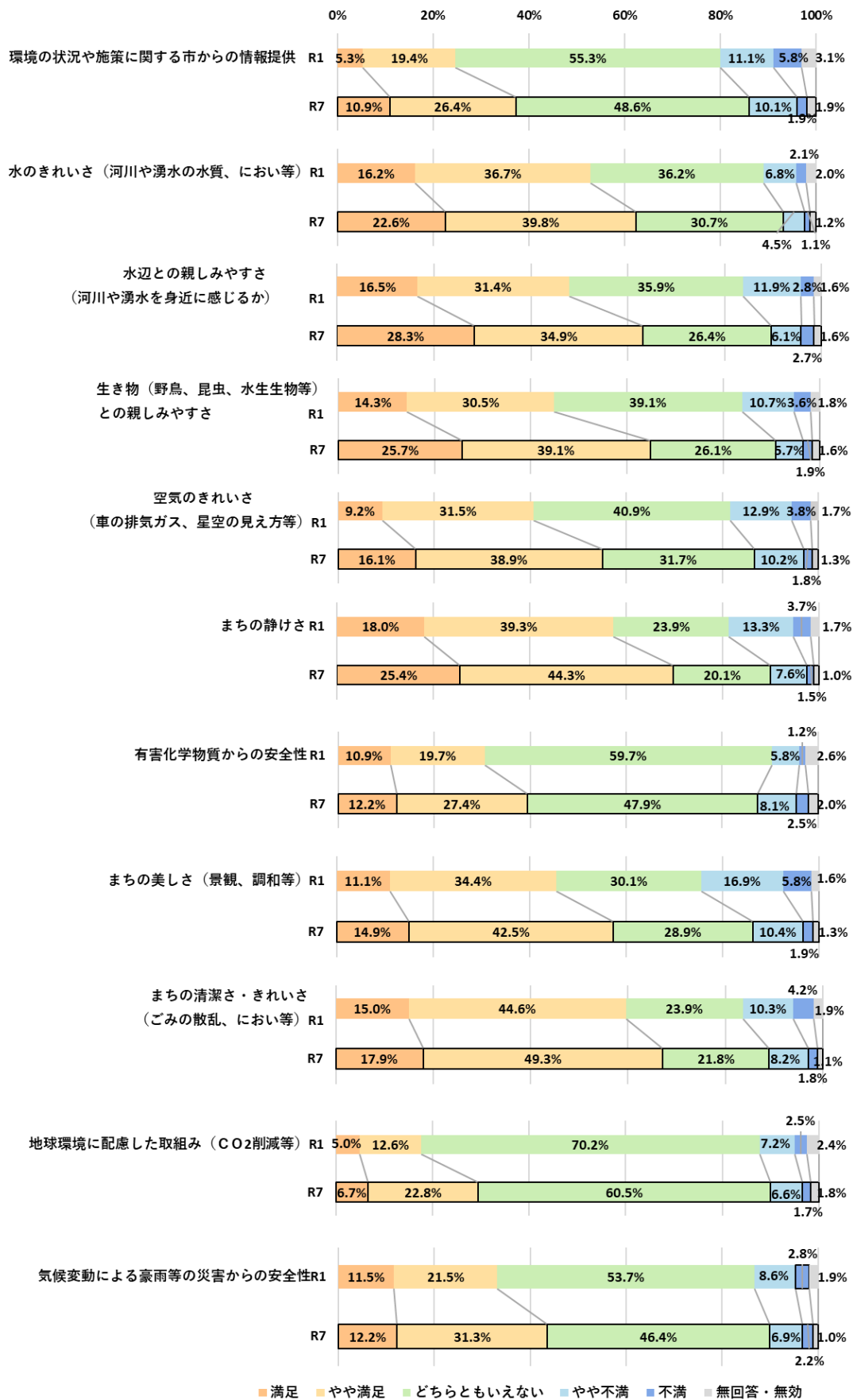


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

## 2 日常生活における環境に関する取組状況

1) 普段の生活を振り返って、小金井市の環境に優しい行動がとれていますか。各項目について、該当する番号1つに○をつけてください。

環境に優しい行動の取組状況において、「いつもしている」、「ときどきしている」の合計値は「ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する」、「ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する」、「生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける」、「生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する」、「移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する」で9割以上でした。

「生ごみは堆肥化して有効に利用する」は、「いつもしている」、「ときどきしている」の合計値が2割以下で最も低い結果でした。

### 環境に優しい行動 (n = 1,078)

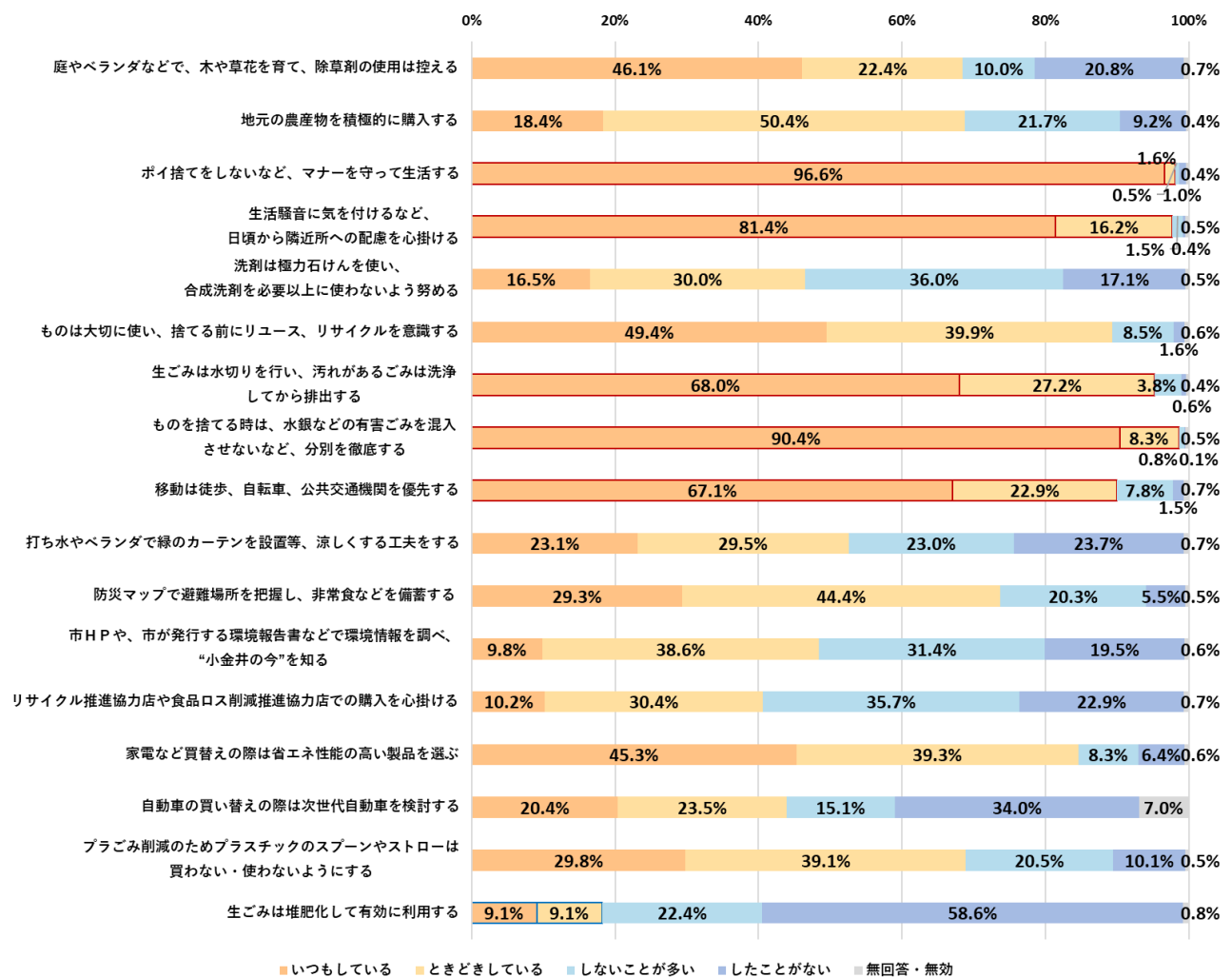


図 環境に優しい行動の取組状況

2) 環境配慮型の機器の利用・導入状況について、該当する番号1つに○をつけてください。

環境配慮型機器について、「既に導入している」の割合が最も高かったのは「断熱窓」(22.0%)でした。次いで「高効率給湯器」(19.7%)、「ハイブリッド車」(15.0%)でした。

「今後導入したい」の割合が高かったのは、「断熱窓」(27.5%)、「遮熱塗装」(26.4%)となり、住宅の断熱化の意向が高い傾向でした。

### 環境配慮型機器 (n = 1,078)

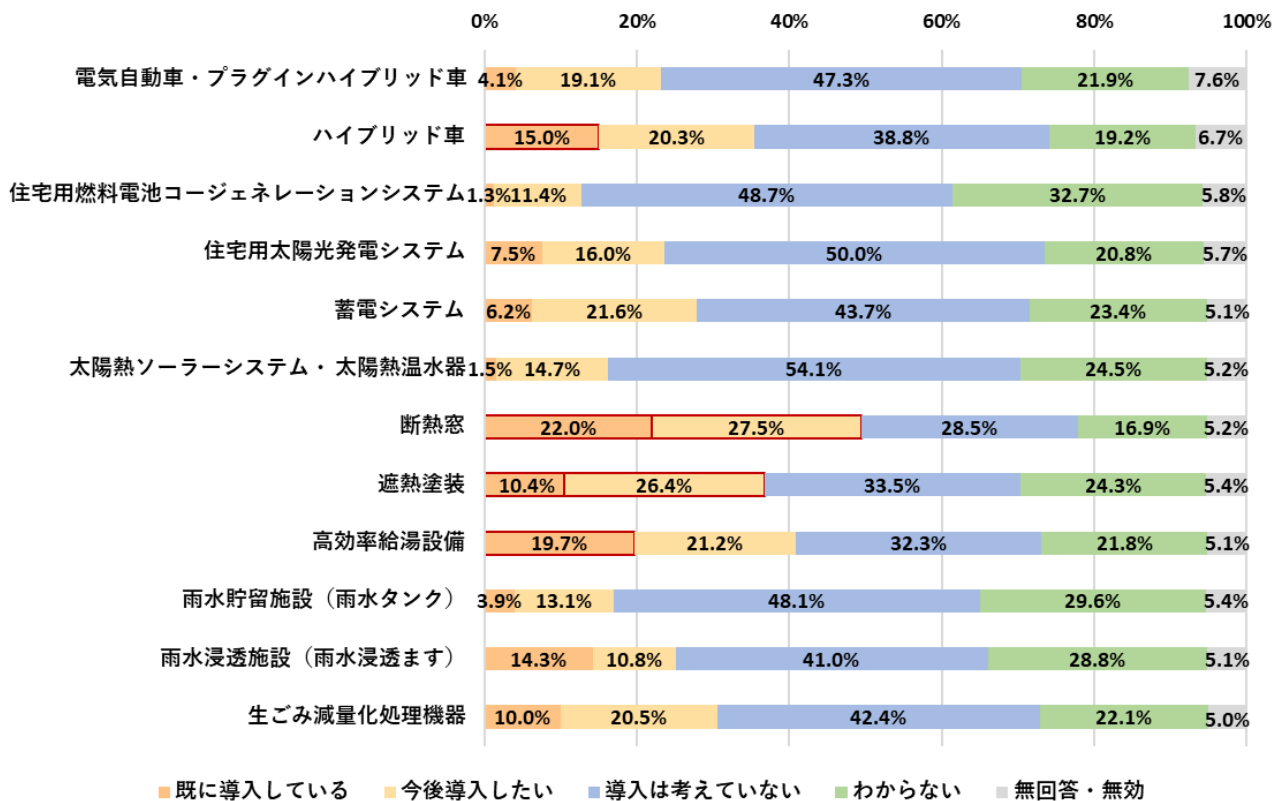


図 環境配慮型機器の利用・導入状況

【過年度との比較】

過年度と比較して、太陽光発電システム、蓄電システムの「既に導入している」の回答は4～5ポイント増加しており、他の機器に比べて高い結果でした。

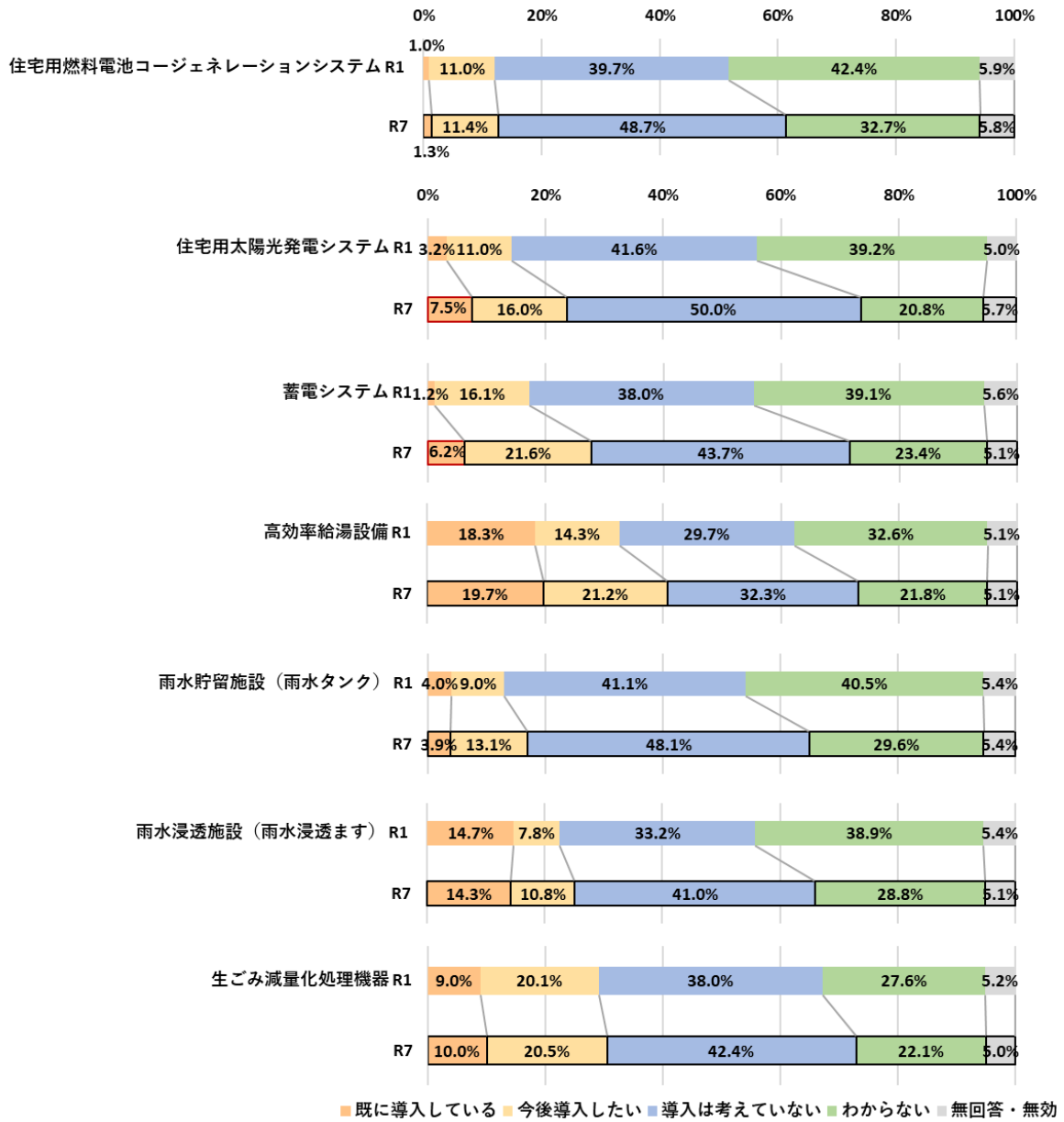


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

3) その他、ご家庭で取り組まれている環境に関する取組などがあれば、お書きください。

表 その他取組（自由記入）

意見	件数
節電・節水	17
エコバックやマイボトル等の利用	11
食品ロス削減	7
国産木材の購入	5
その他取組	26
要望・感想等	8
特になし	24

### 3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号1つに○をつけてください。

環境保全活動について、「参加したことがある」の割合が高かった活動は「ごみ減量活動」(36.1%)、「まちの清掃、美化活動」(28.8%)でした。

「参加したことはないが今後機会があれば参加してみたい」の割合が高かった活動は「まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)」(58.6%)、「地下水・湧水・河川の保全活動」(57.3%)、「地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会」(57.1%)でした。

#### 環境保全活動 (n = 1,078)

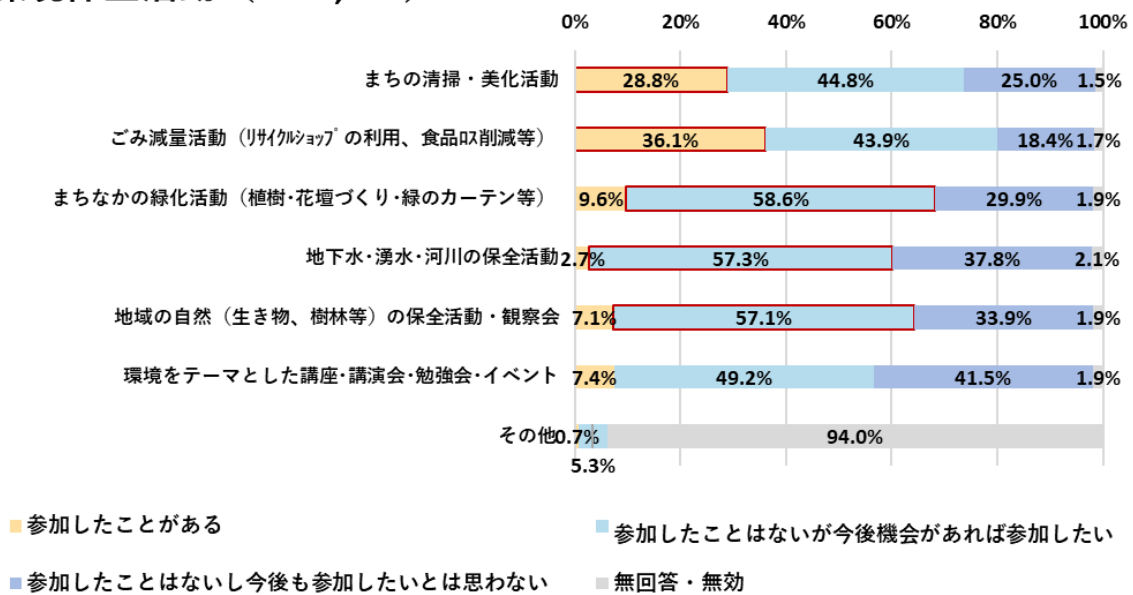


図 環境保全活動への参加状況

2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。  
これらについて該当する番号1つに○をつけてください。

環境・みどりに関する計画について、「知っているし、読んだことがある」、「知っているが、読んだことはない」の合計値は「小金井市環境基本計画」、「小金井市みどりの基本計画」は3割以上でした。

「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」、「小金井市気候非常事態宣言」は「知らない」の回答が約7割でした。

## 環境・みどりに関する計画 (n = 1,078)

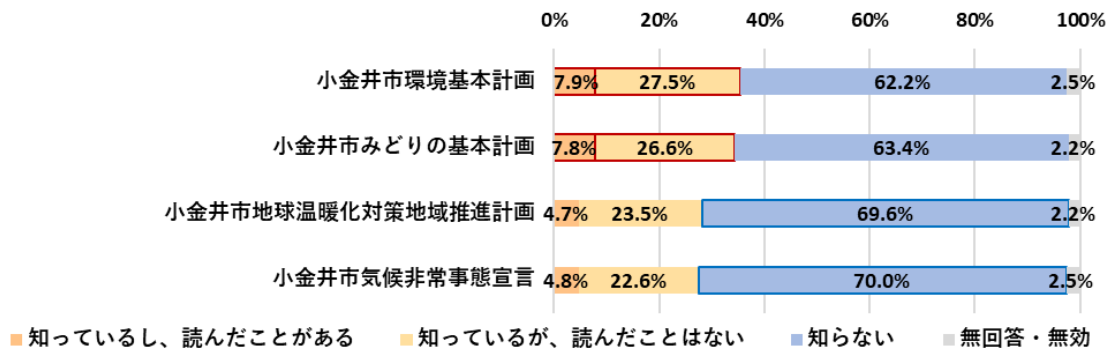


図 環境・みどりに関する計画の認知度

### 【過年度との比較】

令和元年度と比較すると、小金井環境基本計画、小金井市みどりの基本計画について、「知っているし、読んだことがある」割合は増加しましたが、「知らない」割合も増加しました。

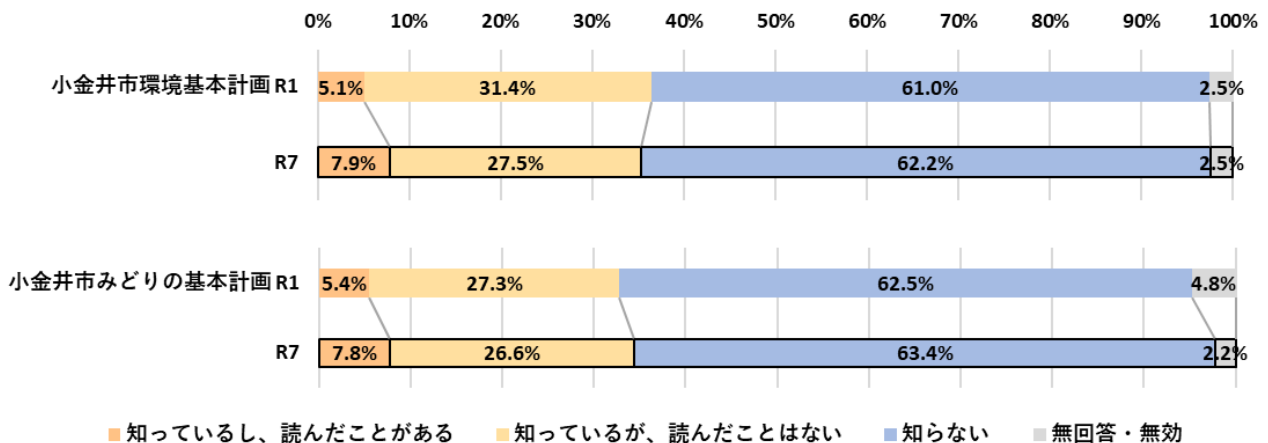


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

環境・みどりに関する取組について、「知っているし、参加したことがある」、「知っているが、参加したことはない」の合計値は「野川環境フィールドワーク」が最も高くなりました。

その他の取組については、「知らない」の回答が7割前後でした。

## 環境・みどりに関する取組 (n = 1,078)

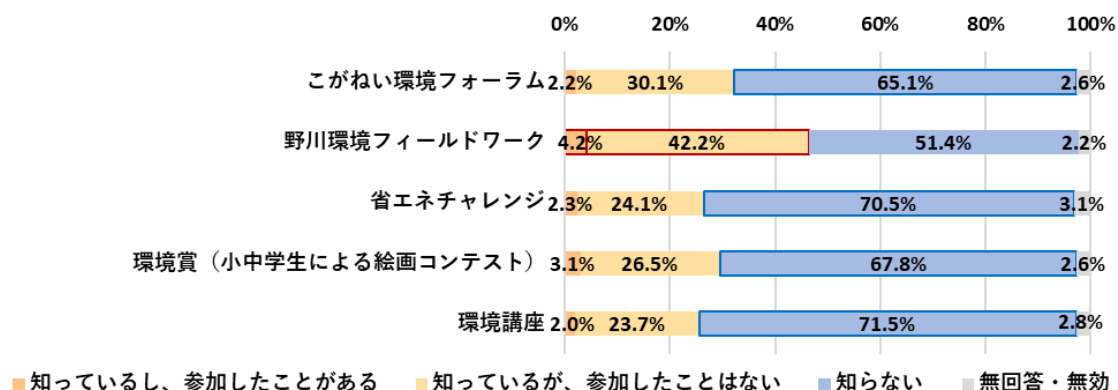


図 環境・みどりに関する取組の認知度

### 【過年度との比較】

令和元年度と比較すると、小金井環境フォーラム、環境省、環境講座については、知っている割合が増加しましたが、野川環境フィールドワークは知っている割合が低下しました。

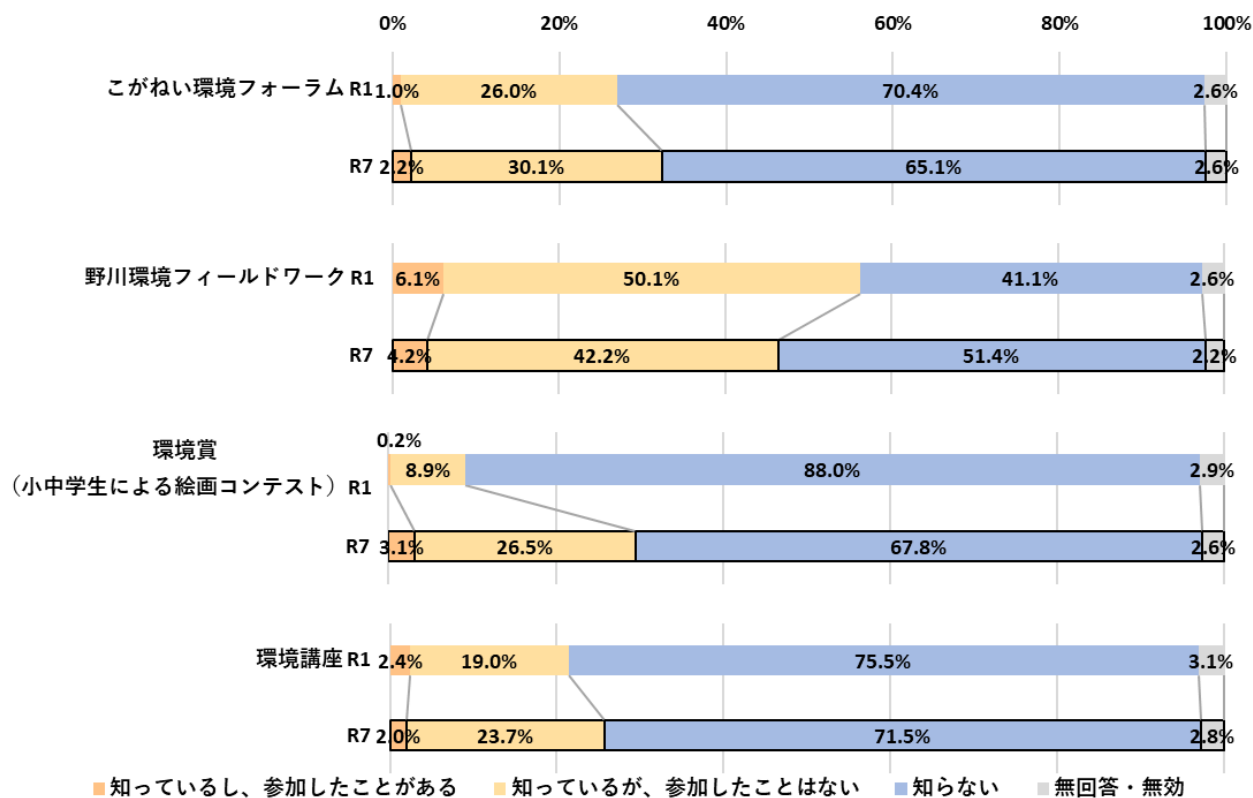


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

環境楽習館について、「知っているし、利用（見学）ことがある」は6.4%、「知っているが、利用（見学）したことはない」は22.2%であり、「知らない」の回答が7割でした。

### 環境楽習館（n = 1,078）

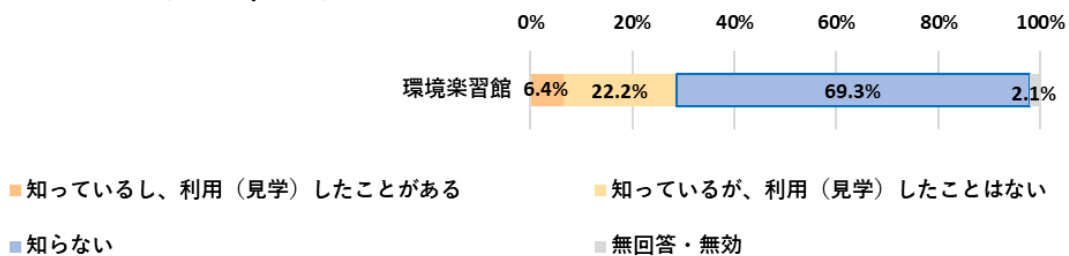


図 環境楽習館の認知度

### 【過年度との比較】

令和元年度と比較すると、環境楽習館は知っている割合が増加しました。

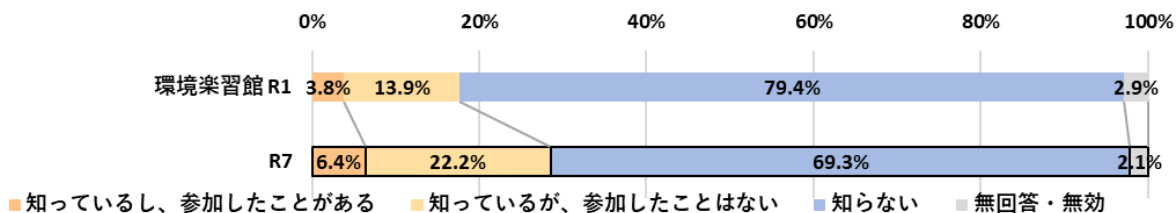


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

環境・みどりに関する補助金・制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」の回答は「住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金」が最も高くなりました。その他の補助金・制度については、「知らない」の回答が7割前後でした。

### 環境・みどりに関する補助金・制度 (n = 1,078)

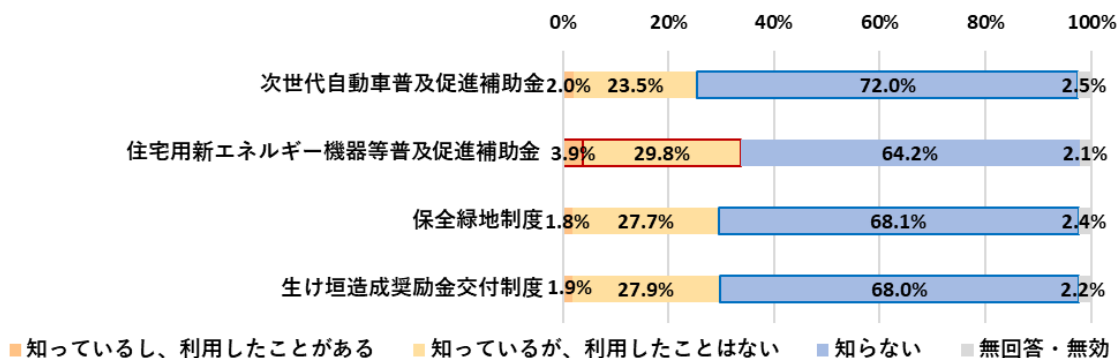


図 環境・みどりに関する補助金・制度の認知度

3) 前ページの1)、2)で参加(利用)したことはないと回答した設問がある方に伺います。参加しなかった理由、参加したいと思わない主な理由は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

「時間的余裕がないから」が50.6%で最も高く、次いで「興味がないから」(16.0%)、「知っていたら参加(利用)したかった」(13.6%)の回答が多くなりました。

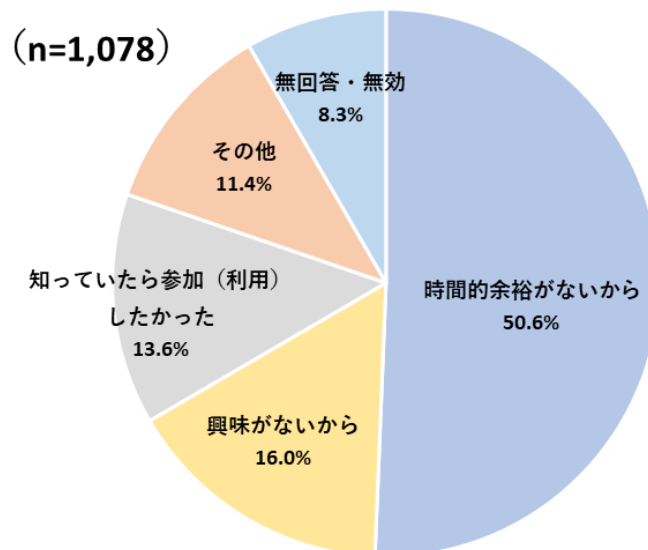


図 参加しなかった、参加したいと思わない理由

#### 4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報（例：環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等）を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

環境に関する情報提供について、「市報こがねい」が80.3%で最も高くなりました。次いで「市ホームページ」(26.7%)、「X、LINE等のSNS」(24.7%)が高い結果でした。

#### 情報提供手段 (n = 1,078)

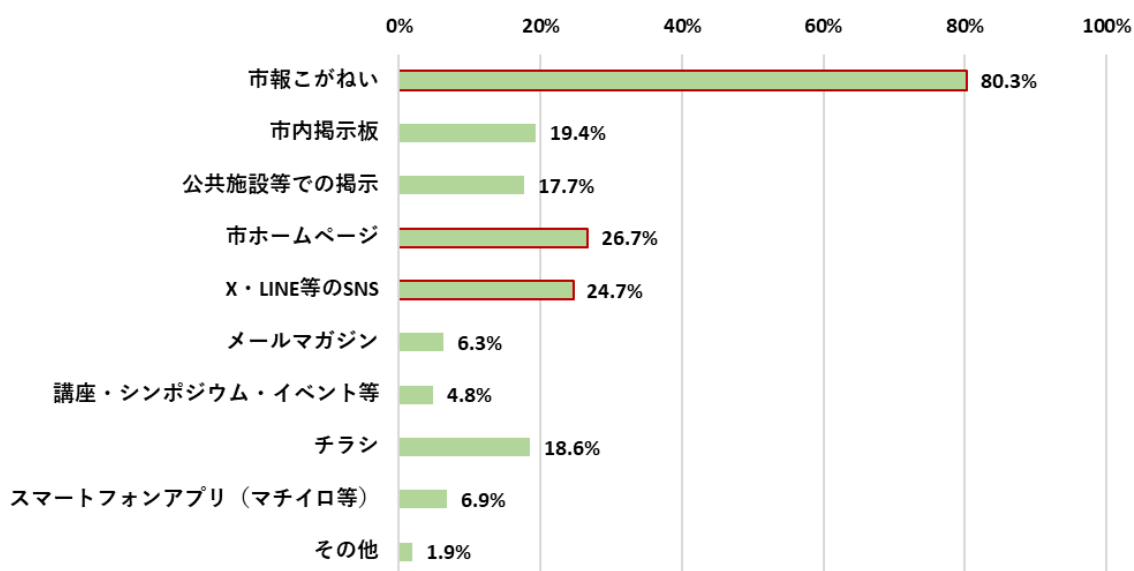


図 利用しやすい市からの情報提供手段

20歳代を除くすべての年代で、「市報こがねい」が利用しやすい媒体という回答が最も多くなりました。20歳代は「X、LINE等のSNS」が59.7%と高く、10歳代から40歳代は30%を超えていました。

#### 情報提供手段×年齢

#### 年齢に関するクロス集計表

	全体 (n=1,078)	10歳代 (n=16)	20歳代 (n=72)	30歳代 (n=136)	40歳代 (n=175)	50歳代 (n=192)	60歳代 (n=212)	70歳代以上 (n=267)
市報こがねい	80.3%	43.8%	43.1%	70.6%	76.0%	86.5%	91.0%	87.3%
市内掲示板	19.4%	12.5%	18.1%	17.6%	14.9%	22.9%	16.0%	24.0%
公共施設等での掲示	17.7%	25.0%	16.7%	19.1%	13.7%	18.8%	17.5%	19.1%
市ホームページ	26.7%	25.0%	37.5%	22.8%	26.3%	31.8%	32.1%	19.1%
X・LINE等のSNS	24.7%	37.5%	59.7%	44.1%	32.6%	26.0%	17.9%	4.5%
メールマガジン	6.3%	18.8%	4.2%	5.1%	8.0%	7.3%	9.4%	2.6%
講座・シンポジウム・イベント等 (環境以外も含む)	4.8%	0.0%	1.4%	1.5%	2.3%	4.2%	4.7%	9.7%
チラシ	18.6%	25.0%	20.8%	16.2%	18.3%	14.6%	16.5%	24.0%
スマートフォンアプリ (マチイロ等)	6.9%	6.3%	5.6%	10.3%	7.4%	6.8%	7.1%	5.2%
その他	1.9%	0.0%	1.4%	1.5%	2.9%	2.6%	0.9%	2.2%

### 【過年度との比較】

令和元年度と比較して、「市報こがねい」が約 8 割で最も多い結果は変わりませんが、「市ホームページ」、「X、LINE 等の SNS」、「講座・シンポジウム・イベント等」の回答が増加しました。

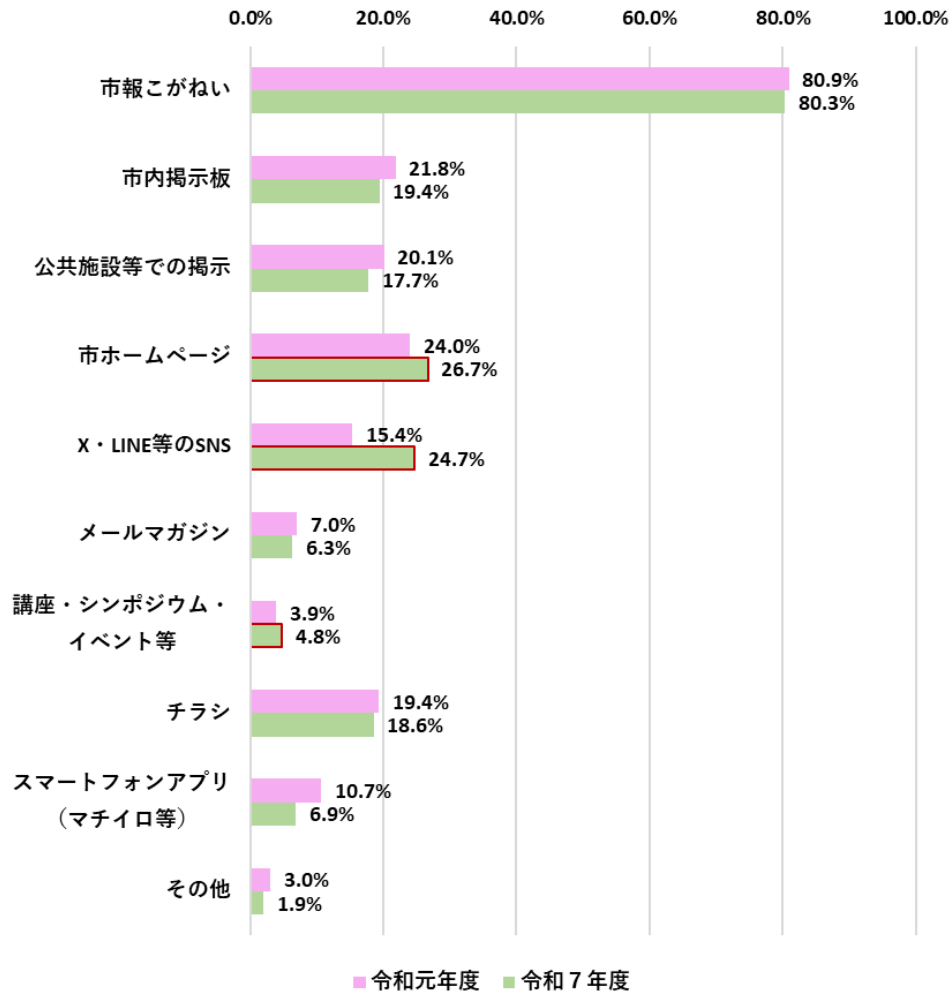


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

## 5 今後、重視すべき取組について

小金井市の環境に関する取組を進めていく上で、今後、特に重要だと思う取組を、以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

市が重視すべき取組について、「ごみの適正な処理と3Rの推進」が43.1%で最も高くなりました。次いで「地球温暖化の防止」(42.0%)、「小金井らしい景観(国分寺崖線等)の保全」(41.3%)が高い結果でした。

### 重視すべき取組 (n = 1,078)

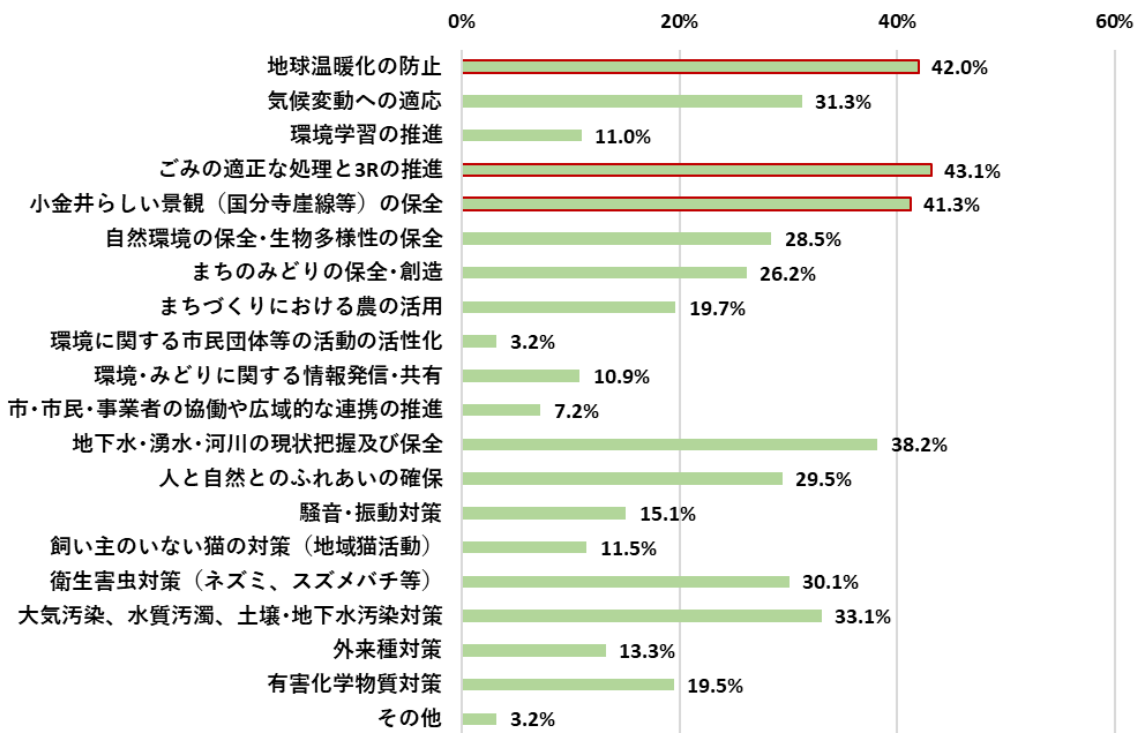


図 今後特に重要だと思う環境に関する取組

10歳代、20歳代、40歳代は「ごみの適正な処理、3Rの推進」、30歳代は「衛生害虫対策」、50歳代から60歳代は「小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全」、70歳代以上では「地球温暖化防止」が特に重要という回答が最も多くなりました。

## 重視すべき取組×年齢

### 年齢に関するクロス集計表

	全体 (n=1,078)	10歳代 (n=16)	20歳代 (n=72)	30歳代 (n=136)	40歳代 (n=175)	50歳代 (n=192)	60歳代 (n=212)	70歳代以上 (n=267)
地球温暖化の防止	42.0%	37.5%	36.1%	39.0%	36.6%	41.1%	47.2%	45.7%
気候変動への適応	31.3%	25.0%	31.9%	35.3%	35.4%	29.2%	34.0%	26.6%
環境学習の推進	11.0%	31.3%	9.7%	19.1%	14.9%	6.8%	9.0%	7.9%
ごみの適正な処理3Rの推進	43.1%	68.8%	41.7%	35.3%	47.4%	44.3%	42.0%	43.4%
小金井らしい景観 (国分寺崖線等)の保全	41.3%	50.0%	36.1%	30.9%	35.4%	45.3%	49.1%	42.7%
自然環境の保全・ 生物多様性の保全	28.5%	6.3%	29.2%	27.9%	28.6%	33.3%	26.4%	28.5%
まちのみどりの保全・創造 (崖線と緑地の一体保全等)	26.2%	25.0%	23.6%	22.1%	25.7%	26.0%	25.9%	30.0%
まちづくりにおける農の活用	19.7%	18.8%	13.9%	21.3%	22.3%	22.9%	17.5%	17.6%
環境に関する市民団体等の 活動の活性化	3.2%	0.0%	1.4%	2.2%	2.3%	2.1%	1.4%	7.5%
環境・みどりに関する 情報発信・共有	10.9%	18.8%	12.5%	5.9%	6.9%	16.1%	13.7%	9.0%
市・市民・事業者の協働や 広域的な連携の推進	7.2%	6.3%	9.7%	9.6%	5.7%	7.8%	7.1%	6.4%
地下水・湧水・河川の 現状把握及び保全	38.2%	12.5%	31.9%	30.1%	30.3%	41.1%	42.5%	44.6%
人と自然とのふれあいの確保 (遊歩道整備等)	29.5%	25.0%	23.6%	30.9%	28.6%	25.5%	32.5%	32.2%
騒音・振動対策	15.1%	25.0%	22.2%	26.5%	17.7%	15.1%	9.9%	9.4%
飼い主のいない猫の対策 (地域猫活動)	11.5%	18.8%	15.3%	12.5%	8.6%	12.5%	10.4%	11.2%
衛生害虫対策 (ネズミ、スズメバチ等)	30.1%	50.0%	33.3%	41.9%	30.3%	27.1%	27.4%	26.6%
大気汚染、水質汚濁、 土壌・地下水汚染対策	33.1%	31.3%	31.9%	25.7%	36.0%	29.2%	34.0%	37.8%
外来種対策	13.3%	6.3%	15.3%	19.1%	13.7%	12.0%	12.7%	11.6%
有害化学物質対策	19.5%	6.3%	20.8%	18.4%	19.4%	17.2%	21.7%	20.6%
その他	3.2%	0.0%	4.2%	1.5%	5.7%	4.2%	2.4%	2.6%

野川地域、南地域では「小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全」、東地域、北地域、中央地域では「ごみの適正な処理、3Rの推進」、西地域では「地球温暖化防止」が特に重要という回答が最も多くなりました。

重視すべき取組×居住地域  
居住地域に関するクロス集計表

	全体 (n=1,078)	野川地域 (n=129)	東地域 (n=182)	北地域 (n=225)	中央地域 (n=199)	西地域 (n=164)	南地域 (n=166)
地球温暖化の防止	42.0%	37.2%	43.4%	40.0%	36.2%	50.0%	47.0%
気候変動への適応	31.3%	26.4%	35.2%	29.3%	33.2%	33.5%	28.9%
環境学習の推進	11.0%	11.6%	11.5%	13.3%	9.5%	12.2%	6.6%
ごみの適正な処理3Rの推進	43.1%	43.4%	47.8%	45.3%	45.2%	41.5%	33.7%
小金井らしい景観 (国分寺崖線等)の保全	41.3%	49.6%	38.5%	37.8%	42.2%	36.0%	49.4%
自然環境の保全・ 生物多様性の保全	28.5%	25.6%	33.5%	29.3%	30.7%	25.6%	25.9%
まちのみどりの保全・創造 (崖線と緑地の一体保全等)	26.2%	30.2%	25.3%	29.8%	19.6%	26.2%	27.7%
まちづくりにおける農の活用	19.7%	11.6%	19.8%	22.7%	18.6%	24.4%	18.1%
環境に関する市民団体等の 活動の活性化	3.2%	3.9%	3.8%	3.6%	4.0%	3.0%	1.2%
環境・みどりに関する 情報発信・共有	10.9%	5.4%	9.9%	10.2%	13.1%	11.6%	13.3%
市・市民・事業者の協働や 広域的な連携の推進	7.2%	7.8%	9.3%	6.2%	7.0%	7.9%	4.8%
地下水・湧水・河川の 現状把握及び保全	38.2%	44.2%	37.4%	36.4%	33.7%	34.1%	47.0%
人と自然とのふれあいの確保 (遊歩道整備等)	29.5%	31.8%	34.1%	29.3%	27.1%	26.2%	30.1%
騒音・振動対策	15.1%	12.4%	14.3%	12.9%	20.1%	11.0%	17.5%
飼い主のいない猫の対策 (地域猫活動)	11.5%	11.6%	11.5%	9.8%	13.6%	14.6%	6.6%
衛生害虫対策 (ネズミ、スズメバチ等)	30.1%	28.7%	34.1%	29.3%	28.1%	26.8%	34.3%
大気汚染、水質汚濁、 土壌・地下水汚染対策	33.1%	33.3%	23.6%	40.0%	30.2%	32.9%	38.0%
外来種対策	13.3%	18.6%	12.6%	11.1%	13.6%	11.0%	15.1%
有害化学物質対策	19.5%	19.4%	19.2%	19.1%	22.6%	20.1%	15.7%
その他	3.2%	4.7%	2.7%	2.7%	2.5%	4.3%	3.6%

【過年度との比較】

令和元年度と比較すると、「ごみの適正な処理と 3R の推進」が最も高い結果となったことは変わりませんが、「地球温暖化の防止」の回答が約 20 ポイントと大きく増加しました。

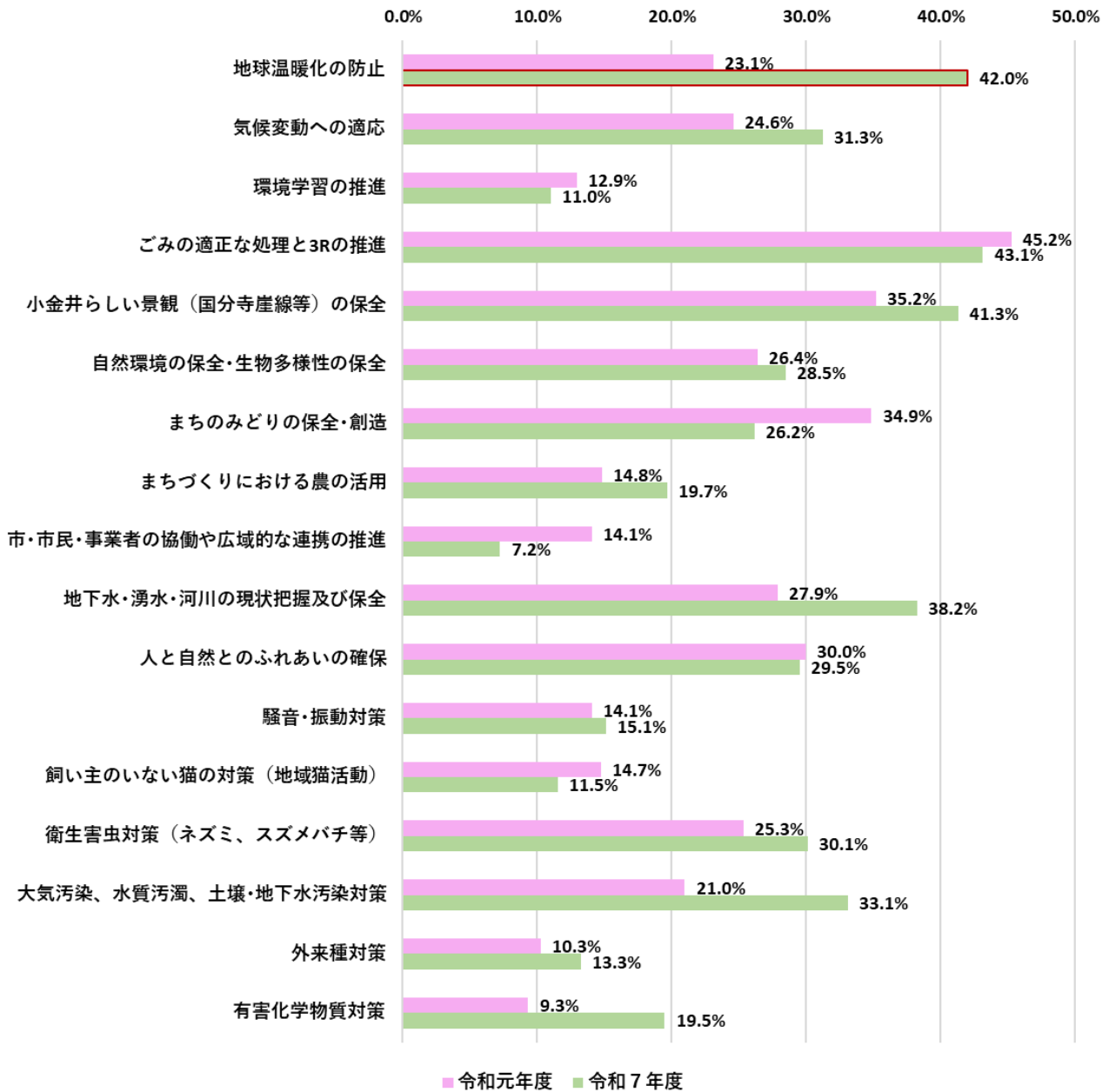


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

## 6 小金井市の「みらい」の環境について

お住いの地域やその近くで、将来の小金井市に残したい環境や大切にしていきたい環境は何ですか。以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

小金井市の将来に残したい環境や大切にしていきたい環境について、「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」が66.8%で最も高くなりました。次いで「名勝小金井（桜）など桜のある風景」（63.4%）、「きれいな河川や湧水」（52.8%）が高い結果でした。

### みらいの環境（n = 1,078）

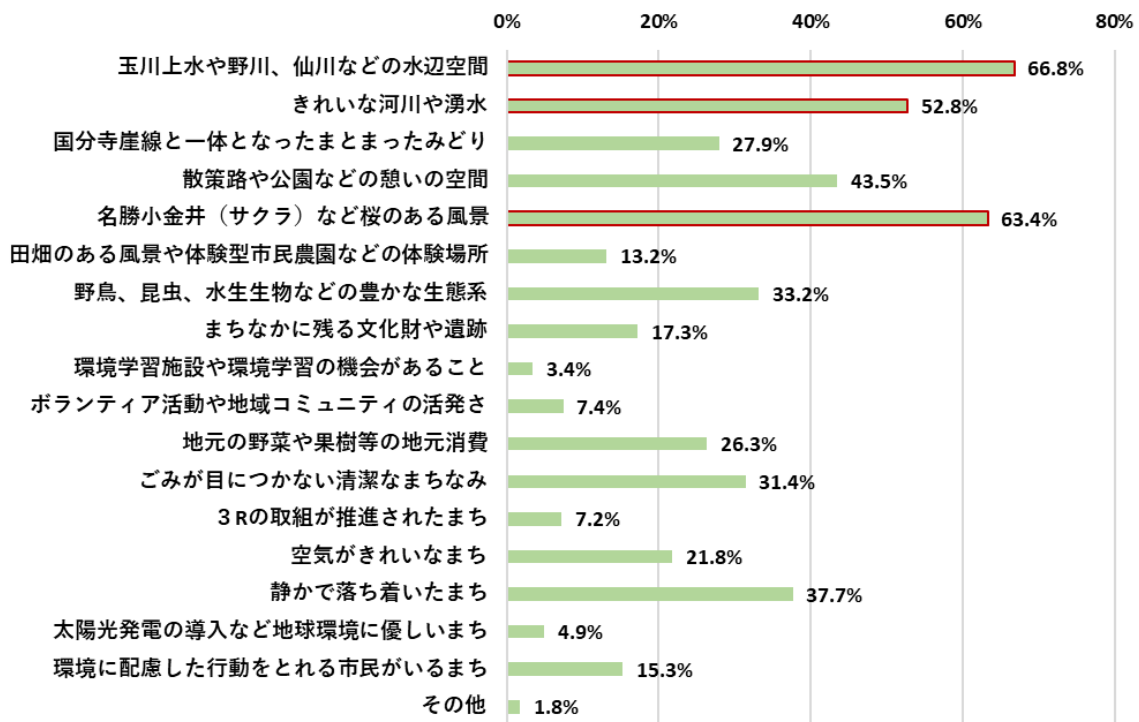


図 残したい・大切にしていきたい環境

10歳代から30歳代は「名勝小金井（桜）など桜のある風景」、40歳代から70歳代以上では「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」が残したい、大切にしたい環境という回答が最も多くなりました。

## みらいの環境×年齢

### 年齢に関するクロス集計表

	全体 (n=1,078)	10歳代 (n=16)	20歳代 (n=72)	30歳代 (n=136)	40歳代 (n=175)	50歳代 (n=192)	60歳代 (n=212)	70歳代以上 (n=267)
玉川上水や野川、仙川などの水辺空間	66.8%	62.5%	51.4%	56.6%	61.1%	69.8%	75.0%	71.5%
きれいな河川や湧水	52.8%	56.3%	48.6%	50.7%	60.6%	59.9%	50.9%	46.8%
国分寺崖線と一体となったまとまったみどり	27.9%	18.8%	18.1%	15.4%	24.6%	30.2%	32.1%	35.2%
散策路や公園などの憩いの空間	43.5%	31.3%	43.1%	45.6%	44.6%	39.6%	47.2%	43.1%
名勝小金井(桜)など桜のある風景	63.4%	87.5%	69.4%	65.4%	60.0%	66.1%	61.8%	60.3%
田畑のある風景や体験型市民農園などの体験場所	13.2%	6.3%	9.7%	18.4%	15.4%	10.9%	10.8%	14.2%
野鳥、昆虫、水生生物などの豊かな生態系	33.2%	18.8%	20.8%	31.6%	37.1%	34.4%	35.4%	33.0%
まちなかに残る文化財や遺跡	17.3%	12.5%	15.3%	19.1%	13.7%	15.6%	19.3%	18.7%
環境学習施設や環境学習の機会があること	3.4%	6.3%	2.8%	3.7%	3.4%	2.1%	4.7%	3.4%
ボランティア活動や地域コミュニティの活発さ	7.4%	0.0%	2.8%	5.1%	6.3%	5.7%	12.3%	8.2%
地元野菜や果樹等の地元消費	26.3%	18.8%	18.1%	23.5%	30.3%	32.3%	26.9%	23.2%
ごみが目につかない清潔なまちなみ	31.4%	37.5%	40.3%	42.6%	38.3%	30.7%	18.9%	28.5%
3Rの取組が推進されたまち	7.2%	12.5%	6.9%	5.9%	6.9%	6.8%	6.1%	9.4%
空気がきれいなまち	21.8%	43.8%	29.2%	29.4%	21.7%	16.1%	16.0%	23.6%
静かで落ち着いたまち	37.7%	56.3%	58.3%	47.1%	34.9%	32.8%	38.7%	30.7%
太陽光発電の導入など地球環境に優しいまち	4.9%	0.0%	1.4%	5.9%	2.9%	4.7%	5.2%	7.1%
環境に配慮した行動をとれる市民がいるまち	15.3%	18.8%	9.7%	10.3%	18.9%	12.0%	14.6%	19.1%
その他	1.8%	0.0%	5.6%	0.7%	0.6%	2.1%	1.9%	1.9%

野川地域、東地域、北地域、南地域は「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」、中央地域、西地域は「名勝小金井（桜）など桜のある風景」が残したい、大切にしたい環境という回答が最も多くなりました。

## みらいの環境×居住地域

### 居住地域に関するクロス集計表

	全体 (n=1,078)	野川地域 (n=129)	東地域 (n=182)	北地域 (n=225)	中央地域 (n=199)	西地域 (n=164)	南地域 (n=166)
玉川上水や野川、仙川などの水辺空間	66.8%	75.2%	62.6%	71.1%	60.8%	61.6%	72.9%
きれいな河川や湧水	52.8%	55.8%	54.4%	40.4%	53.3%	54.9%	63.3%
国分寺崖線と一体となったまとまったみどり	27.9%	42.6%	28.6%	19.6%	24.1%	25.6%	34.9%
散策路や公園などの憩いの空間	43.5%	41.9%	40.1%	51.1%	44.7%	45.1%	34.9%
名勝小金井(桜)など桜のある風景	63.4%	51.2%	58.8%	68.0%	66.8%	72.0%	57.8%
田畑のある風景や体験型市民農園などの体験場所	13.2%	7.0%	15.4%	15.1%	11.1%	17.1%	11.4%
野鳥、昆虫、水生生物などの豊かな生態系	33.2%	42.6%	38.5%	30.2%	27.1%	26.8%	38.0%
まちなかに残る文化財や遺跡	17.3%	16.3%	15.9%	18.2%	22.6%	11.0%	18.1%
環境学習施設や環境学習の機会があること	3.4%	2.3%	2.7%	3.1%	3.0%	4.3%	5.4%
ボランティア活動や地域コミュニティの活発さ	7.4%	6.2%	8.8%	7.6%	7.5%	7.9%	6.0%
地元野菜や果樹等の地元消費	26.3%	23.3%	31.9%	29.8%	23.1%	31.1%	17.5%
ごみが目につかない清潔なまちなみ	31.4%	31.0%	30.8%	32.0%	37.2%	28.0%	28.3%
3Rの取組が推進されたまち	7.2%	7.8%	4.4%	7.6%	10.1%	6.7%	7.2%
空気がきれいなまち	21.8%	21.7%	18.7%	21.3%	23.6%	24.4%	21.1%
静かで落ち着いたまち	37.7%	33.3%	42.3%	40.0%	36.7%	38.4%	32.5%
太陽光発電の導入など地球環境に優しいまち	4.9%	3.9%	3.8%	6.2%	4.0%	6.1%	4.2%
環境に配慮した行動をとれる市民がいるまち	15.3%	14.0%	17.6%	16.4%	11.1%	17.7%	14.5%
その他	1.8%	2.3%	1.6%	0.4%	2.5%	1.2%	3.0%

【過年度との比較】

令和元年度と比較すると、「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」、「名勝小金井（サクラ）など桜のある風景」、「きれいな河川や湧水」が他の項目に比べて増加しました。

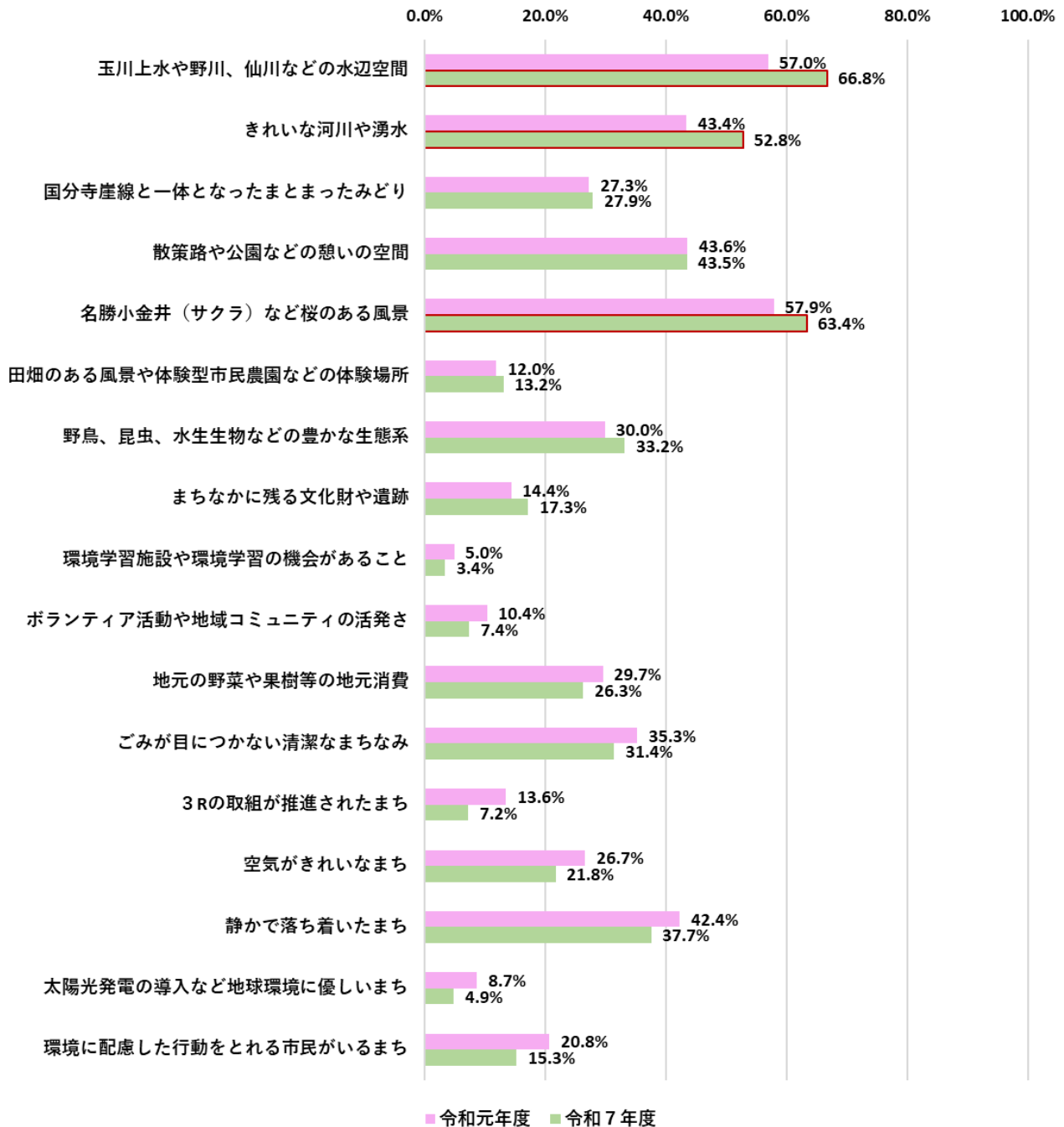


図 令和元年度、令和7年度の回答状況

## 7 環境保全に関する用語の認知度について

最近よく使用されている環境保全に関する用語について、該当する番号1つに○をつけてください。

環境保全に関する用語について、「意味を含めて知っていた」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」の合計値は「カーボンニュートラル」が89.7%で最も高くなりました。

「ネイチャーポジティブ」、「30by30」の認知度は低い結果でした。

### 用語の認知度 (n = 1,078)

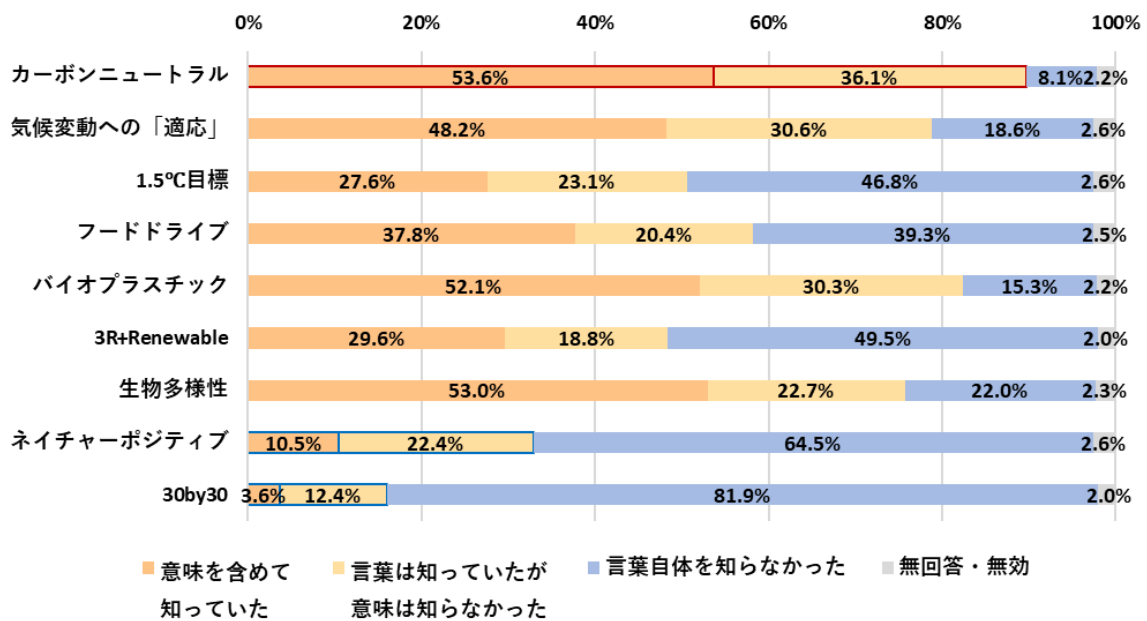


図 環境保全に関する用語の認知度

【過年度との比較】

環境基本計画の指標となっている「気候変動への適応」の認知度は48.2%、「生物多様性」の認知度は53.0%となり、令和12年度の目標達成に向けて認知度のさらなる向上が必要である結果となりました。

表 環境基本計画の指標

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
気候変動への「適応」	25.3%	48.2%	50%以上
生物多様性	—	53.0%	75%

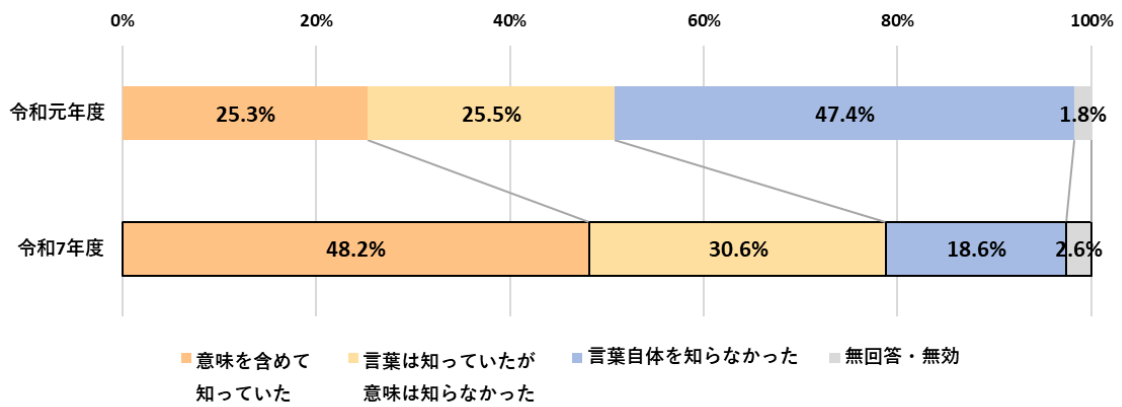


図 令和元年度、令和7年度の「気候変動への適応」の認知度の回答状況

## 8 小金井市のみどりについて

本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%)で高い結果でした。

「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は2割以下でした。

「みどりの質」の「満足」、「やや満足」の合計値は47.5%となりました。

### 小金井市のみどり (n = 1,078)

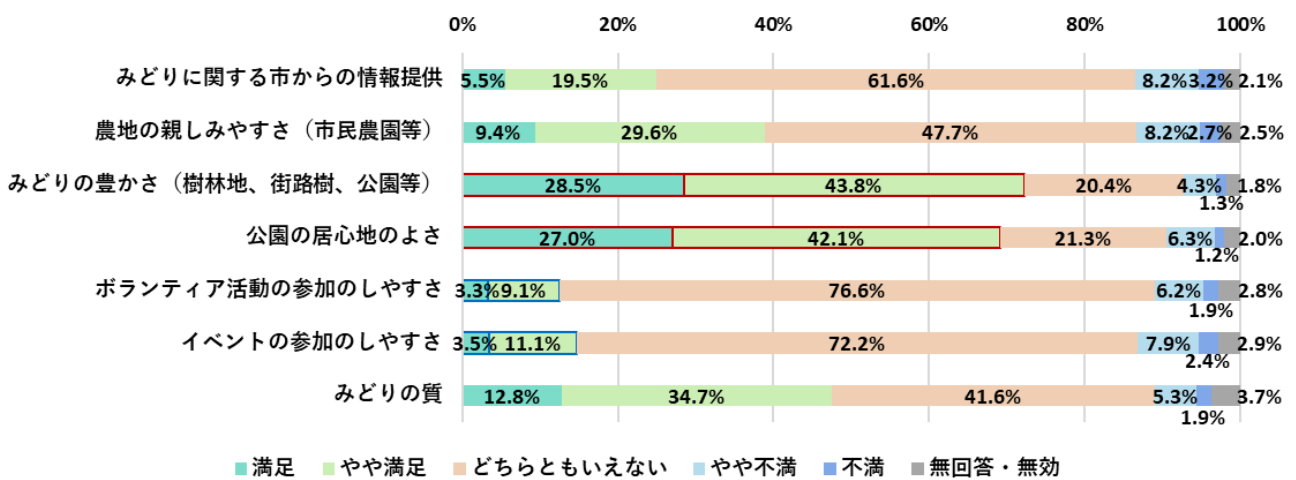


図 市のみどりの施策の満足度

### 【過年度との比較】

令和7年度の調査では、調査票内に「みどり」の説明を掲載し、アンケートの聞き方を変更しました。

前回のアンケートからの変更点として、新たに「小金井市のみどり」の参考情報として、小金井市みどりの基本計画における「みどりの将来像」や基本計画における「質の高いみどり」の定義をアンケート調査票に掲載し、「質の高いみどり」についてアンケート回答者に意識してもらうように説明を加えました。

その結果として、アンケート回答者が深く考え見直す機会となったことで、前回回答より直感的な回答が減少し、「どちらとも言えない」の回答が増加したと考えられます。「どちらとも言えない」の回答は、令和元年度は19.0%でしたが、令和7年度の調査結果では41.6%となりました。

「みどりの質」の満足度は、「満足」、「やや満足」の合計値で、令和元年度の67.8%と比較すると、令和7年度は47.5%となり、20.3ポイント低下しました。

また、「やや不満」、「不満」の回答の合計値は、令和元年度の10.5%に対して、令和7年度は7.2%と低い結果となりました。

表 みどりの質の満足度

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
みどりの質の満足度	67.8%	47.5%	80.0%

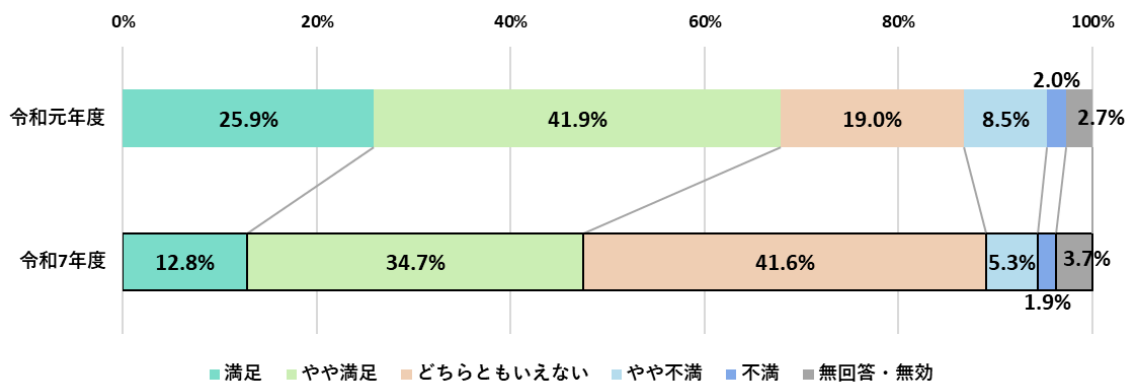


図 令和元年度、令和7年度の「みどりの質」回答状況

環境基本計画の指標である「みどりの豊かさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は令和元年度と同程度であり、令和12年度の目標値80%は達成していません。

表 環境基本計画の指標

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
みどりの豊かさ	71.8%	72.3%	80.0%

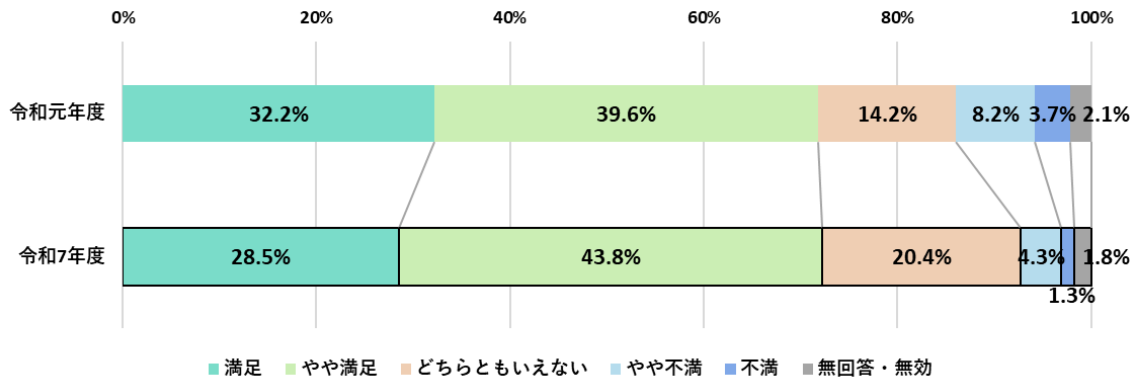


図 令和元年度、令和7年度の「みどりの豊かさ」回答状況

## 9 気候変動対策について

1) 日本は、2030 年度において、温室効果ガス排出 46%削減（2013 年度比）を目指し、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目標としています。あなたはこのことを知っていましたか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

日本の温室効果ガス削減目標について「知っていた」は 44.5%、「知らなかった」は 43.5%でした。

(n = 1,078)

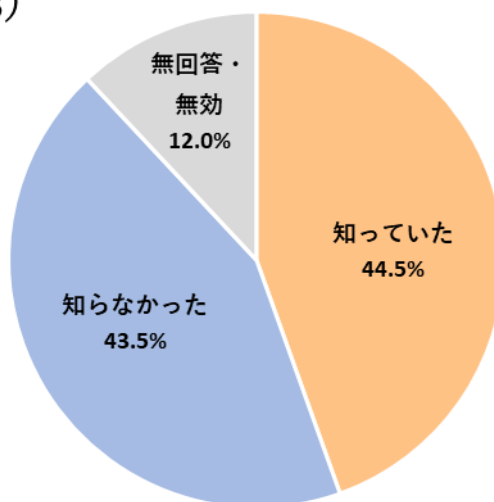


図 日本削減目標の認知度

2) 小金井市の現在の温室効果ガス排出削減目標は、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の目標は国と同じであるものの、中期目標である2030年度においては温室効果ガス排出26%削減(2013年度比)を目指としています。(国の目標は46%削減)あなたは2030年度における小金井市の目標数値について、どのように考えますか。該当する番号1つに○をつけてください。

小金井市の温室効果ガス削減目標について、「国と同じ程度の目標を掲げるべき」は42.5%、「現状の目標値でよい」は38.8%、「国以上の目標を掲げるべき」は14.2%となりました。

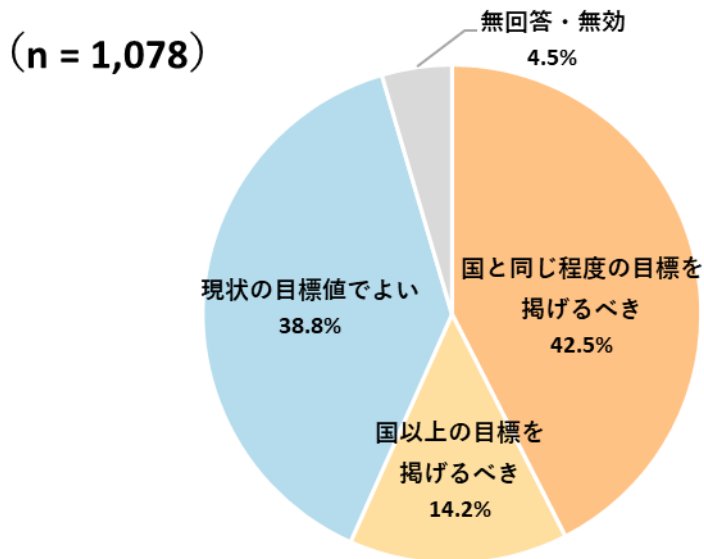


図 小金井市の削減目標

3) 2) の回答の理由があれば、お書きください。

表 小金井市の削減目標の選択理由

選択肢	理由	件数
国と同じ程度の目標を掲げるべき	国の目標に合わせるべき	22
	国よりも低くする理由がないため	4
	目標は高い方がよい	11
	その他（意見・感想等）	38
国以上の目標を掲げるべき	国より高い目標を掲げることでさまざまな政策を推進してほしい	24
	小金井市なら目標を達成できるため	10
	小金井市が全国の自治体の見本になってほしい	8
	現状の目標が低すぎるため	7
	市民の意識が高まるため	4
	その他（意見・感想等）	19
現状の目標値でよい	実現できる目標にするべき	24
	現状でも十分高いと思うため	17
	国に合わせる必要はないため	12
	その他（意見・感想等）	45

4) 気候変動の影響に備える「適応」について、現在あなたが行っている取組にはどのようなものがありますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

適応の取組について、「熱中症対策の徹底」が93.9%で最も高い結果でした。次いで「自然災害等への備え」は63.3%でした。

### 適応の取組状況 (n = 1,078)

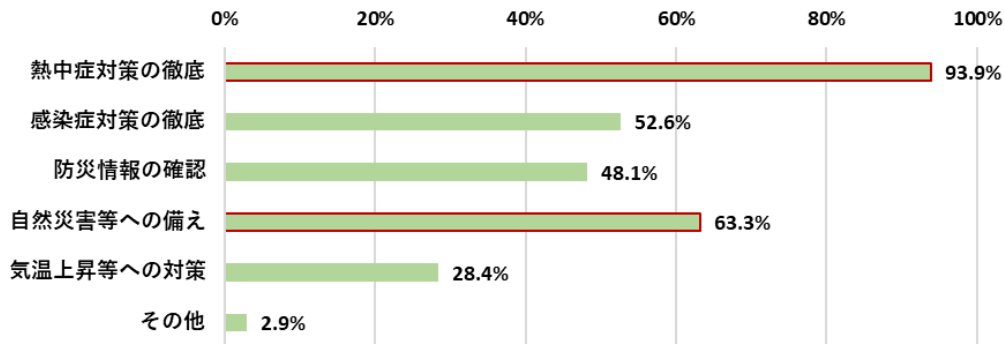


図 適応の取組状況

5) 気候変動の影響に備える「適応」について、市が重点的に対策すべきものは何ですか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

市が重点的に対策すべき適応策について、「自然災害に備えた備蓄（水・非常食）の強化」が74.0%で最も高い結果でした。次いで「防災に関する情報提供の強化」(65.1%)、「気温上昇等への対策」(60.0%)となりました。

### 市が取り組むべき適応策 (n = 1,078)

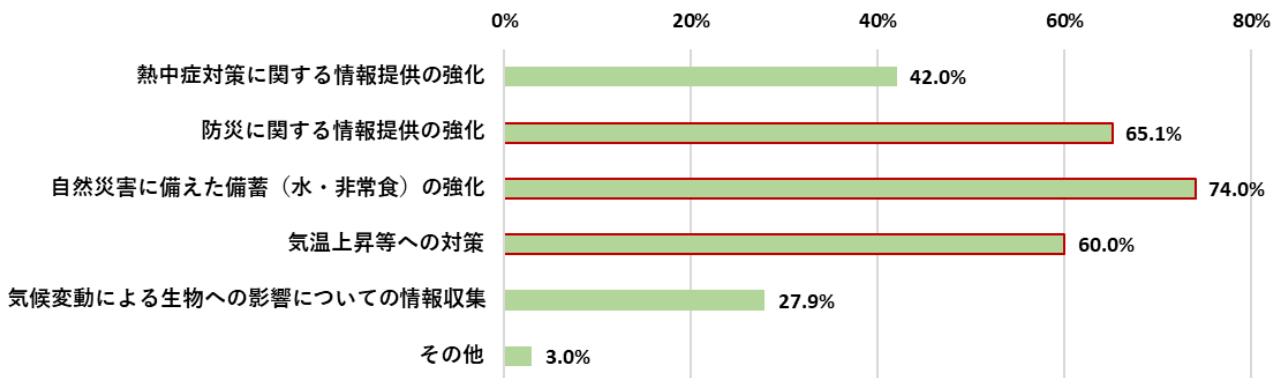


図 市が重点的に対策すべき適応策

6) 東京都では、「燃費の良い住宅」の普及を進めています。あなたは、断熱性が高く、太陽光発電設備や蓄電池等の機器を設置した「燃費の良い住宅」のメリットを知っていますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

「燃費の良い住宅」のメリットについて、「夏は涼しく、冬は暖かく、光熱費削減」が73.1%で最も認知度が高くなりました。次いで「停電時にも電気の使用が可能」44.8%でした。「知らなかった」は19.1%となりました。

### 燃費の良い住宅のメリット (n = 1,078)

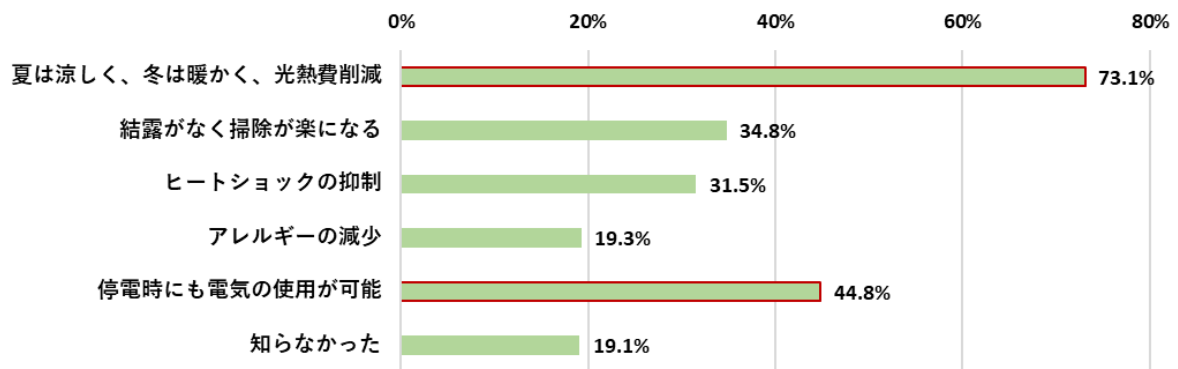


図 燃費の良い住宅のメリットの認知度

## 10 市の環境施策について

小金井市の環境施策について、あなたのご意見を聞かせてください。

分類別では、みどりやまちづくりに関する意見が多い結果でした。

表 小金井市の環境施策に関する意見

	分類	件数
みどり	全般	18
	保全について	64
	施策について	56
	整備について	26
地下水・湧水・河川	PFAS・PFOSについて	7
	整備について	3
生物多様性	全般	3
	害虫について	8
	野鳥について	7
	害獣について	4
	ホタルについて	2
生活環境	騒音について	3
	空き家について	4
まちづくり	優先整備路線について	28
	不法投棄について	13
	道路整備について	11
	防犯・防災について	8
	景観について	6
ごみ	全般	5
	出し方・回収について	9
	分別について	6
	ごみ袋について	6
	ごみ処理施設について	5
エネルギー	再エネ・省エネについて	13
	暑さ対策について	9
その他	普及啓発・情報発信について	37
	イベント・活動について	7
	補助金について	7
アンケートについて		20
要望・感想等		88

表 小金井市の環境施策に関する主な意見

カテゴリ	主な意見
緑地・自然環境の保全	小金井市特有の自然環境（野川・はげ・玉川上水・樹林地等）を守ってほしい
	農地や緑地が宅地化で減少していることへの危機感
	公園や街路樹の維持管理（雑草・剪定・枯木の処理）の改善
	緑化推進（植樹、苗の配布、保存樹林保全）
道路・都市計画	都市計画道路について賛否
	高層マンションや大規模開発が市の景観や環境を損なっているという懸念
環境施策の情報不足・周知の不足	市の環境施策を知らない人が多い
	市報・WEB・SNS での情報発信をもっとわかりやすく
	興味のない層にも届く工夫が必要
	啓発イベントや具体的行動例の提示
ごみ・リサイクル・マナーに関する課題	ごみの分別が徹底されていない（特に外国人への周知）
	ポイ捨て・路上喫煙・犬のフンなどのマナー問題
	使用済み油の回収希望
エネルギー・気候変動対策	太陽光発電の補助金が少ない、期間が短い
	電動自転車の購入補助の要望
	断熱・ZEH化などの促進
	夏の猛暑対策（ミスト、水撒き、日陰の整備）
	気候変動への市の姿勢について賛否
環境教育・市民参加	太陽光パネルの将来処理への不安
	市民や子どもへの環境教育が重要
	ボランティア募集の強化
	ごみ処理施設見学・自然学習の機会提供
安全・景観・暮らしやすさ	市民農園の拡大やフリーマーケットの開催要望
	歩道拡張、危険な樹木や歩道の隆起の改善
	カラス・ネズミなど害獣被害
	防犯面の不安（人通りの少ない道）
	タバコのポイ捨てや歩きタバコ対策
公園・駅周辺の清潔さ改善	

自由記入の意見で、最も多かった頻出語は「緑」でした。次いで「自然」、「公園」が多い結果でした。「野川」、「桜」、「農地」などの小金井市を代表するみどりに関する単語が多い一方、「道路」、「開発」、「歩道」、「マンション」といったまちづくりに関連する単語も多い結果でした。

表 頻出語一覧（上位 10 の単語）

単語	件数
緑	56
自然	38
公園	38
道路	37
野川	17
桜	12
開発	8
農地	8
歩道	8
マンション	7